

加藤省吾・編

日本名歌百曲集



東京新興音楽出版社 発行

フ
ラ
ン
ク
ト
永
惠
存

東
宮
、
高
文
直

日本名歌百曲集

加藤省吾・編



東京新興音樂出版社發行

序　　言

私はさきに小學校を對照として、數ある童謠作品の中から八十曲を選び、これに文部省唱歌から二十曲を加えて「日本童謠唱歌百曲集」を出版したが、これが意外な好評を博し、發行後いくばくもなくして、數版を重ねると云う、まことによろこばしい結果を得た。

そこでこの「日本童謠唱歌百曲集」の姉妹篇として、ここに中學校から高等學校並びに一般音樂愛好家を對照として本書を計畫した次第である。

收録した歌謠百曲の選び方に就いては、純音樂的な見地から検討すれば、必ずしも当を得たものばかりとは云い得ず、新曲も收録されているので、玉石混合のそしりは、まぬかれ得ないと思うが、しかし現今吾々が必要とする歌曲が容易に入手出来得ない不便さを思う時、私はこの集成が必ずや、諸賢の利便に資すること大なるものがあることを堅く信じているものである。

また童謠作品として發表されたものの中からも抒情的な幾篇かを收録したが、これは中學生並びにホームソング的な見地から收録したものであることを附言しておく。

編　　著　　者

日本名歌百曲集

目次

- 1 荒城の月……(土井晩翠詞・瀧 廉太郎曲)…… 10
- 2 秋の月……(瀧 廉太郎詞・瀧 廉太郎曲)…… 12
- 3 花……(武島羽衣詞・瀧 廉太郎曲)…… 14
- 4 沙丘の上……(室生犀星詞・小松耕輔曲)…… 17
- 5 泊り船……(北原白秋詞・小松耕輔曲)…… 20
- 6 母……(竹久夢二詞・小松耕輔曲)…… 24
- 7 赤い夕日……(北原白秋詞・小松耕輔曲)…… 26
- 8 芭蕉……(北原白秋詞・小松耕輔曲)…… 28
- 9 關の夕ざれ……(日本古謠・本居長世曲)…… 31
- 10 別れし宵……(竹久夢二詞・本居長世曲)…… 34
- 11 向う横町……(日本古謠・本居長世編)…… 36
- 12 咲いたさくらに……(日本古謠・本居長世曲)…… 38
- 13 白月……(三木露風詞・本居長世曲)…… 40
- 14 からたちの花……(北原白秋詞・山田耕筈曲)…… 42
- 15 この道……(北原白秋詞・山田耕筈曲)…… 44

- 16 待 ぼ う け……(北原白秋詞・山田耕筰曲)…… 15
- 17 さ く ら さ く ら……(日本古謡・長專完至編)…… 46
- 18 中 國 地 方 子 守 唄……(日本古謡・山田耕筰篇)…… 49
- 19 沖 の 鷗 に……(日本古謡・山田耕筰篇)…… 51
- 20 野 ば ら……(三木露風詞・山田耕筰曲)…… 52
- 21 箱 根 八 里 は……(日本古謡・山田耕筰曲)…… 53
- 22 か や の 木 山……(北原白秋詞・山田耕筰篇)…… 54
- 23 土 投 げ 唄……(野口雨情詞・藤井清水曲)…… 57
- 24 六 騎……(北原白秋詞・山田耕筰曲)…… 58
- 25 母 の こ え……(大木惇夫詞・山田耕筰曲)…… 60
- 26 鐘 が 鳴 り ま す……(北原白秋詞・山田耕筰曲)…… 62
- 27 松 島 音 頭……(北原白秋詞・山田耕筰曲)…… 64
- 28 曼 珠 沙 華……(北原白秋詞・山田耕筰曲)…… 66
- 29 來 る か 來 る か……(日本古謡・山田耕筰篇)…… 70
- 30 祭 物 日 に……(北原白秋詞・藤井清水曲)…… 72
- 31 港 の 時 雨……(野口雨情詞・藤井清水曲)…… 74
- 32 忍 路……(時雨音羽詞・藤井清水曲)…… 76
- 33 河 原 柳……(野口雨情詞・藤井清水曲)…… 78

- 34 信 田 の 藪……(野口雨情詞・藤井清水曲)…… 80
- 35 お 山 の 娘……(藤原鎮夫詞・藤井清水曲)…… 82
- 36 ふ る さ と の……(三木露風詞・齋藤佳三曲)…… 83
- 37 濱 邊 の 歌……(林 古溪詞・成田爲三曲)…… 85
- 38 望 郷 の 歌……(吉丸一昌詞・成田爲三曲)…… 86
- 39 早 春 賦……(吉丸一昌詞・中田 章曲)…… 88
- 40 月 待 草……(村田米四詞・草川 信曲)…… 90
- 41 美 し き 天 然……(武島羽衣詞・田中穂積曲)…… 92
- 42 城 ケ 島 の 雨……(北原白秋詞・梁田 貞曲)…… 94
- 43 晝 の 夢……(高安月郊詞・梁田 貞曲)…… 96
- 44 宵 待 草……(竹久夢二詞・多忠 亮曲)…… 98
- 45 小諸なる古城のほとり……(島崎藤村詞・弘田龍太郎曲)……105
- 46 地 引 綱……(加藤省吾詞・弘田龍太郎曲)……110
- 47 か も め……(室生犀星詞・弘田龍太郎曲)……112
- 48 濱 千 鳥……(鹿島鳴秋詞・弘田龍太郎曲)……106
- 49 叱 ら れ て……(清水かつら詞・弘田龍太郎曲)……118
- 50 月のメランコリア……(柳澤 建 詞・弘田龍太郎曲)……120
- 51 神 田 祭……(小林愛雄詞・弘田龍太郎曲)…… 122

- 52 小諸なる古城のほとり……(島崎藤村詞・弘田龍太郎曲)……124
- 53 晝……(林古溪詞・弘田龍太郎曲)……127
- 54 愛のかげ……(加藤省吾詞・杉山長谷夫曲)……128
- 55 出船……(勝田香月詞・杉山長谷夫曲)……129
- 56 金魚屋……(林柳波詞・杉山長谷夫曲)……130
- 57 春のあした……(尾上柴舟詞・松島つね曲)……132
- 58 花嫁人形……(落谷虹兒詞・杉山長谷夫曲)……133
- 59 秋の唄……(落谷虹兒詞・杉山長谷夫曲)……134
- 60 片しぶき……(西岡水朗詞・杉山長谷夫曲)……135
- 61 苗や苗……(林柳波詞・杉山長谷夫曲)……136
- 62 草笛……(勝田香月詞・杉山長谷夫曲)……138
- 63 父と子……(濱田廣介詞・船橋榮吉曲)……140
- 64 山のあなた……(上田敏詞・下總皖一曲)……142
- 65 ちんちん千鳥……(北原白秋曲・近衛秀麿曲)……144
- 66 お菓子と娘……(西條八十詞・橋本國彥曲)……147
- 67 お六娘……(林柳波詞・橋本國彥曲)……150
- 68 田植唄……(林柳波詞・橋本國彥曲)……153
- 69 旅人の唄……(佐伯孝夫詞・橋本國彥曲)……160

- 70 富士山見たら……(久保田宵二詞・橋本國彦曲)……162
- 71 出船の港……(時雨音羽詞・中山晋平曲)……166
- 72 波浮の港……(野口雨情詞・中山晋平曲)……168
- 73 銚をおさめて……(時雨音羽詞・中山晋平曲)……170
- 74 旅人の唄……(野口雨情詞・中山晋平曲)……172
- 75 青い芒……(野口雨情詞・中山晋平曲)……174
- 76 平城山(ならやま)……(北見志保子詞・平井保喜曲)……176
- 77 荷足舟……(加藤省吾詞・平井保喜曲)……178
- 78 ゆりかご……(平井保喜詞・平井保喜曲)……184
- 79 九十九里濱……(北見志保子詞・平井保喜曲)……186
- 80 追分宿……(加藤省吾詞・平井保喜曲)……190
- 81 そばの花……(加藤省吾詞・平井保喜曲)……192
- 82 月見草咲く頃……(加藤省吾詞・足羽章曲)……198
- 83 沼の日暮……(北原白秋詞・足羽章曲)……200
- 84 白樺の朝……(加藤省吾詞・鈴木林藏曲)……205
- 85 りんどうの唄……(加藤省吾詞・鈴木林藏曲)……208
- 86 秋がゆくよ……(加藤省吾詞・鈴木林藏曲)……210
- 87 ちがやの波……(藪田義雄詞・鈴木林藏曲)……212

- 88 山 茶 花……(加藤省吾詞・海沼實曲)…… 214
- 89 みかんの花咲く丘……(加藤省吾詞・海沼實曲)…… 216
- 90 春 の 唄……(喜志邦三詞・内田元曲)…… 218
- 91 夜 あ け の 唄……(大木惇夫詞・内田元曲)…… 220
- 92 鈴 ら ん に 寄 せ て……(加藤省吾詞・飯田三郎曲)…… 222
- 93 椰 子 の 實……(島崎藤村詞・大中寅二曲)…… 224
- 94 白 ば ら よ……(加藤省吾詞・石田一郎曲)…… 226
- 95 朝 だ 元 氣 で……(八十島稔詞・飯田信夫曲)…… 228
- 96 朝 ……(島崎藤村詞・小田進吾曲)…… 230
- 97 落 葉 松……(北原白秋詞・長村金二曲)…… 232
- 98 ほ た る 草……(加藤省吾詞・山口保治曲)…… 234
- 99 ク ロ ー バ の 花……(加藤省吾詞・堀江貞一曲)…… 235
- 100 山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ……(島崎藤村詞・小田進吾曲)…… 239
-

荒城の月

土井晩翠作詞
瀧康太郎作曲

想を込めて(♩ = 60)

1.

想を込めて(♩ = 60)

mf *espress* *pp* *poco riten.* *mf*

p *p* *pp* *mf* *p* *f*

はあろこ うろ うの はな の え ん
あい ま こ う え じょ の の わ の い つ き
め な く さ く か ず き か か げ さ し て
め な き わ ら ぬ か ひ か た が み た し め て
ち う よ の ま つ つ が え に わ け い し し
か う き に の の の こ り は た だ そ か い し ら

1. 2. 3. 4.
 1. 2. 3. 4.
 molto rit. e dim. ppp

荒城の月

土井晩翠 作詞

- 一、春高樓の 花の宴
めぐる盃 かげさして
千代の松が枝 わけいでし
むかしの 光いまいづこ
- 二、秋陣營の 霜の色
鳴き行く雁の 数見せて
植うるつるぎに 照りそいし
むかしの光 いまいづこ
- 三、今荒城の 夜半の月
かわらぬ光 たがためぞ
垣にのこるは ただかつら
松に歌うは ただ嵐
- 四、天上影は かわらねど
榮枯は移る 世の姿
寫さんとしてか 今もなを
嗚呼荒城の 夜半の月

秋の月

瀧 廉太郎 作詞作曲
山田 耕筰 編曲

Lento con tristezza (M.M. ♩ = 80)

2.

p

ひかりは いつもか

mf *p*

はらぬものを とさらあきの つきのか

mf *p*

は ー など か ひ と に も の お も は

mf *p*

す ー る など か ひ と に も の お も は

The musical score is written for a vocal line and a piano accompaniment. The key signature is one sharp (F#), and the time signature is 4/4. The lyrics are in Japanese, with the first two lines of the song being:

 1. す る あゝなく む し も お な じ こ こ

 2. ろ か あゝなく む し も お な じ こ こ

 The third line of the song is:

 3. ろ か こ え の か な し き

 The piano accompaniment features a prominent melody in the right hand, often with triplets, and a supporting bass line in the left hand. Dynamics include *p* (piano), *pp* (pianissimo), and *mf* (mezzo-forte). The score includes various musical notations such as slurs, ties, and repeat signs.

秋の月

瀧廉太郎作詞

ひかりはいつも
變らぬものを
殊更秋の月の影は
なごか人に物思わする
ああ 鳴く虫もおなじ心か
聲の悲しき

花

優美に ♩ = 60

武島羽衣作詞
瀧 廉太郎作曲

3.

Piano introduction in 3/4 time, key of D major. The right hand features a continuous eighth-note pattern, while the left hand provides a simple harmonic accompaniment. The piece begins with a piano (*p*) dynamic.

First vocal line with lyrics: は る の う らーのーの すーみだ が わ の ほり く. The melody starts with a mezzo-forte (*mf*) dynamic, includes a fermata over the second measure, and ends with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The piano accompaniment is marked mezzo-forte (*mf*) and dolce.

Second vocal line with lyrics: だーりの ふ なび と が か い の し ず く も は. The melody begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic, features a fermata, and concludes with a forte (*f*) dynamic. The piano accompaniment also transitions to a forte (*f*) dynamic.

Third vocal line with lyrics: な と ち る な が め を なーにーに た と う べ. The melody starts with a mezzo-forte (*mf*) dynamic and includes a fermata. The piano accompaniment is marked mezzo-forte (*mf*).

き み ず や あ

p

f

p

け-ぼ-の つ-ゆ-あ び て わ れに も の-い-う-

mp

mf

mp

mf

さ く ら ぎ を み ず や ゆ う ぐ れ て を の べ

f

f

て わ れさ し ま-ね-く あを-や ぎ を

mf

mf

に しき お りーな-す

ちやう-てい に く る れ ば の-ほ-る お ほろ ず

き げ に い つ こ く も せん きん の な が め を

な-に-に た と う べ き

砂 丘 の 上

室生犀星作詞
小松耕輔作曲

Molto dolce e tranquillo

4.

p

な ぎ - さ に - は - あ お き

な み の - む れ

mf

cresc.

か も め の ご と く ひ

p

が え り - す

f

calma

ぎ - し ひ は う み の か な た

calando

に し に う か - ぶ - お

p

cresc.

と も - な く 砂 丘 - の う

え に う ず - く ま り

p

う み の か な た

を こ い ぬ れ て - ひ と

pp

p *cresc.*

り - た だ ひ と り - は る か に - お

calando

も - い つ か れ た り -

calando

泊 り 船

北原白秋作詞
小松耕輔作曲

Andante con tenerezza (♩ = 100)

5. *p* *dolce* *mf*

p *dim.* *p*

あ し ま

— て て — み よ け む り が

あ が る —

p *tranquillo*

poco a poco

あ れ は - -

f

p *morendo*

- - - し ぐ れ の - も

p *morendo*

leggero *pp*

や い ぶ - ね -

mf *legato*

mf *semplice*

た つ - - る

mf

花

武島又次郎作詞

一、春のうららの 隅田川

のぼりくだりの 船人が

權のしづくも 花と散る

ながめを何に たとうべき

二、見よやあけぼの 露あびて

われにもの言う 櫻木を

見ずや夕ぐれ 手をのべて

われさしまねく 青柳を

三、錦おりなす 長堤に

暮るればのぼる おぼろ月

げに一刻も 千金の

ながめを 何にたとうべき

砂丘の上

室生犀星作詞

渚には青き 波の群

鷗のごとく ひるがえり

すぎし日は

海の彼方に浮ぶ

音もなく 砂丘の上に

うすまくり

海の彼方を こいぬれて

ひとり ただひとり

はるかに思い 疲れたり

泊り舟

北原白秋作詞

蘆間出て見よけむりがあがる

あれは時雨のもやい舟

立つるけむりはほそくなれど

やはり浮世の 泊り舟。

別れし宵

竹久夢二作詞

タランテラ

踊れるひまに

春は逝き

草の實は

野に散れり

別れし宵に

月はにとも

あの夜の人と

何を歌はん

何を歌はん

母

やはらかにかなしく (M.M. ♩ = 116)

竹久夢二 作詞
小松耕輔 作曲

6.

p sempre dolce

mf

ふるさとのやまのあけくれ — み

どりのかどにたちぬれて — いつまで —

ad.

rit.

も — われまちたまうははは — かなし

a tempo

rit.

も — い く — さん か — と おくさかりぬ — ふ

a tempo

る - さ - と の み ど り の か ど に い

ま - も - な お わ れ ま つ ら む か は

は - は - と お し も - -

母

竹久夢二作詞

一、ふるさとの 山のあけくれ
みごりのかごに たちぬれて
いつまでも われまちたまう
母はかなしも

二、幾山河とおくさかりぬ
ふるさとの みごりのかごに
いまもなお われをまつらむか
母はとおしも

赤い夕日

北原白秋 作詞
小松耕輔 作曲

Andante un poco allegretto

p あ

p *dolce*

かい ゆ う ひ に つ い つ ま さ

mf れ て よ う て か ふ え

mf

を て は て た が

どうせわたしはな

morendo
 けものあ

のはかばをんでし

tranquillo
8va
dim. pp

8.

芭蕉

北原白秋作詞
小松耕輔作曲

Andante moderato (♩ = 126)

p
dolce

p
rit.
p

までめざめて　とうげ　ーであけて

8va

ー　　ゆめはの　ずえの　ー　　ちゃ

の け - む り

p morendo

8va

tranquillo

f

mf

mf

け む り た つ - な ら ほ そ ほ そ た ち ゃ れ

mf

dolce

f

つ き に ば し

f

cresc.

の ひ と り た

dolce

tranquillo

mf *poco* *p* *p*

pp *ppp* *dim.* *pppp*

芭蕉

北原白秋 作詞

馬でめざめて
峠で明けて
夢は野末の
茶のけむり
煙たつなら
ほそぼそたちやれ
月に芭蕉の
一人旅

赤い夕日

北原白秋 作詞

赤い夕日に ついつまされて
酔うてカフェを 出は出たが
ごうせわたしは 怠けもの
明日の墓場を なんて知ろ

關の夕ざれ

日本古謡
本居長世作曲

伸びやかに寂しく

First system of the musical score. The piano part features a melody with triplets and a crescendo. The vocal part begins with a long note. Dynamics include *pp*, *ad lib.*, *cresc.*, and *f*.

Andantino

Second system of the musical score. The piano part continues with a decrescendo. The vocal part has a long note. Dynamics include *decresc.*, *p*, and *pp*.

かねが

なる—か—

Third system of the musical score. The piano part features a melody with eighth notes. The vocal part has a long note. Dynamics include *p*.

—よ—

しも—くが

なる—

Fourth system of the musical score. The piano part features a melody with eighth notes. The vocal part has a long note. Dynamics include *f*.

p
が (ヨ)

piu mosso
pp

少し早く
mf
かねとしも く の(サ) あひ - が -

crescendo.

なる - (ヨ) かねとしも く の(サ)

p

-) あ ひ が
 (サ) な - - る - - (ヨ)
 あ い が 鳴 る
 鐘 と 撞 木 の
 撞 木 が 鳴 る か
 鐘 が 鳴 る か よ

關の夕ざれ

日本古謠

別れし宵

— 小 唄 —

竹久夢二作詞
本居長世作曲

Andante

10.

タ ラ ン テ ラ おど れ る ひ ま に は

る は ゆ き く さ の み は の に の に ち れ り

— わ か れ し — よ — い に — つ き — は —

に る と も — あ の よ の ひ と と な に を う た

— は ん な に を う た は ん

8va

11.

向う横町

(江戸時代童謡)

早く可愛らしく

本居長世編.作曲

むこうよこちの おいなりさんへ
 いっせんあげて ざっとおがんで おせんのぢやへ
 こしをかけたらしぶちやをだして しぶちやよここ
 よこめてみたらば こめのだんごか つちのだんごか おだんごだ ー んご

このだんごを いぬにやろうか ねこにやろうか とらーとらー とん びに
 さらわ れ た

rit.
a tempo

向う横町

江戸時代童謡

向う横町のお稲荷さんへ
 一錢上げて
 ざつと拜んでお仙の茶屋へ
 腰を掛けたら澁茶を出して
 澁茶よくよく横目で見たらば
 米の團子か 土の團子か
 お團子だんご
 この團子を
 犬にやろうか 猫にやろうか
 とうとう鳶に攫われた

12.

咲いたさくら

日本古謡
本居長世作曲

極めて早く勢よく

さいたさく

らになぜこまつなぐ(ヨ)こまが

いさめーば

トラトラトラチ ラチラチラ

はながはながちるー

mf

f

p

tra-ta-ta-ta

dim.

rit.

(ヨ)こ ま が い さ め ー ば は ー な が は ー な ー が

ちる(ヨ) ち-----る (ヨ -)

咲いたさくら

日本古謡

咲いた櫻に
なぜ駒つなぐよ
駒が勇めば

チラ チラ
チラ チラ
チラ

花が散る

白 月

詞 作 風 露 木 三
曲 作 世 長 居 本

Andante

13.

Piano introduction in G major, 4/4 time. The right hand features a melody with a repeat sign, and the left hand provides harmonic support with chords and single notes. Dynamics include *mf*, *p*, and *mp*. The piece is marked *Andante*.

Vocal melody line 1. The melody is in G major, 4/4 time. The lyrics are: 一て る つき の か げ 一みち 一て
二ふ く かぜ の お と 一さえ 一て

Piano accompaniment line 1. The piano part features chords and single notes in the left hand, and chords in the right hand. Dynamics include *f*, *p*, and *mp*.

Vocal melody line 2. The melody is in G major, 4/4 time. The lyrics are: か り が ね の さ お も 一みえ ず よ
あ き ぐ さ の む し が 一す だ く ぞ

Piano accompaniment line 2. The piano part features chords and single notes in the left hand, and chords in the right hand. Dynamics include *mf* and *p*.

Vocal melody line 3. The melody is in G major, 4/4 time. The lyrics are: わ が 一お も う は 一て 一もし ら 一ず
な に 一や ら ん こ こ ろ 一も な く 一

Piano accompaniment line 3. The piano part features chords and single notes in the left hand, and chords in the right hand. Dynamics include *sf*, *ff*, and *piu lento*.

よぞ
たな だき しろか

あき の つ き - よ は
あき の つ

よ は

8va

白月

三木露風作詞

- 一、照る月の影みちて
雁がねのさおも見えずよ
わが思う果ても知らずよ
ただ白し 秋の月夜は
- 二、吹く風の音さえて
秋草の虫がすだくぞ
何やらん心も泣くぞ
泣きあかせ 秋の月夜は

14.

からたちの花

Andate tranquillamente [♩ = 56]

北原白秋作詞
山田耕筰作曲

pp *sempre sotto voce* *p* *pp*

からたちの花 がさいた よ しろい しろいは

pp *delicatissimo* *p* *pp*

な がさいた よ からたちのとげ はいたい

pp *mf* *p* *pp* *p*

よ あ おいあおいは ー りのとげだ よ か

in fretta un poco *a tempo* *ten.* *mf* *ten.*

らたちははた のかきね よいつも いつもと おるみちだ

mf p f p
 よ か ら たち も あ き は み の る よ ま ろ い ま ろ い ー き

pp ppp *sempre sotto voce* ppp *ten.*
 ん の た ま だ よ か ら たち の そ ば ぞ な い た よ ー み

mf p p
 ん な み ん な や さ し か た よ か ら たち の は な が さ い た

pp pp *molto riten. e dim.* ppp
 し ろ い し ろ い は な が さ い た よ

ゆるやかに ♩ = 56

北原白秋 作詞
山田耕筈 作曲

— このみ

ちは—い つかきた みち ああ—そうだよ— あ
かは—い つかみた おか ああ—そうだよ— ほ
ちは—い つかきた みち ああ—そうだよ— お
もも—い つかみた くも ああ—そうだよ— さ

かしや— の— は ながさい て る
—らし— ろい と けいだい だよ二あのお
かあさ— まと しゃていつ た 上三このみ
んざし— の— え だもたれ 四あのか て る

待ちぼうけ

北原白秋作詞
山田耕筰作曲

Allegretto leggiero (M.M. ♩ = 100)

16.

1. まちぼうけ
2. まちぼうけ

まちぼうけ
まちぼうけ

あるひせつせと のらかせぎ
しめたこれから ねてまとか

そこえうさぎが とんでて
まてばえものは かけてくる

ころりころげたれ
うさぎぶつかれ

きののねつ
きののねつ

poco riten. **ff** L.H. *a tempo* **p** L.H. **pp**

この道

北原白秋 作詞

この道は いつかきた道

あゝ そうだよ

あかしやの 花が咲いてる。

あの丘は いつか見た丘

あゝ そうだよ

ほら白い 時計台だよ。

この道は いつかきた道

あゝ そうだよ

お母様と 馬車で行つたよ。

あの雲も いつか見た雲

あゝ そうだよ

山査子^{えんすし}の 枝も垂れてる。

からたちの花

北原白秋 作詞

からたちの花が咲いたよ

白い白い花が咲いたよ。

からたちのとげはいたいよ

青い青い針のとげだよ。

からたちは畑の垣根よ

いつもいつもとおる道だよ。

からたちも秋はみのるよ

まろいまろい金のたまだよ。

からたちのそばで泣いたよ

みんなみんなやさしかつたよ。

からたちの花が咲いたよ

白い白い花が咲いたよ。

待ちぼうけ

北原白秋 作詞

一、待ちぼうけ 待ちぼうけ

或る日せつせと野良かせぎ

そこへ兎がとんで出て

ころり轉げた

木のねっこ

二、待ちぼうけ 待ちぼうけ

しめた これから寝て待とか

待てばえものは駆けて来る

兎ぶつかれ

木のねっこ

三、待ちぼうけ 待ちぼうけ

昨日鍛とり 畑仕事

今日は頬づえ日向ぼこ

うまい伐り株

木のねっこ

さくら さくら

日本古謡

さくら さくら

やよいの空は 見渡すかぎり

霞か雲か 匂いぞする

いざや いざや 見に行かん

中國地方子守唄

日本古謡

一、ねんねこしやつしやりませ

寝た子の可愛さ

起きて泣く子の ねんころろん

つら憎さ

ねんころろん ねんころろん

二、ねんねこしやつしやりませ

今日は二十五日さ

明日はこの子の ねんころろん

宮詣り

ねんころろん ねんころろん

三、宮へ詣つたとき

なんと云うて 拜むさ

一生この子の ねんころろん
まめなように
ねんころろん ねんころろん

沖の鷗に

日本古謡

沖の鷗に潮どききけば

ノウエ

わたしや立つ鳥

ヤッコラサノリ

トコヤントコセイ

波にきけ

サイトコセイ

(M.M. ♩ = 63)

日本古謡
山田耕筰編作曲

さくら

さくら やよいの そら—は みわたす かぎ—り

かすみ か くも—か にほいぞいづ—る いざや

いざや みに ゆ—か ん

48

18.

子 守 歌

Andante sentimentalmente
ma con moto un poco
(M.M. ♩ = 63-52)

日 本 古 謡
山田耕作 編 作曲

ねんねこしりり ま せ ねた この

mf p mf p

mf molto amabile
p sempre

— か — わ い さ おきてな く この ねんころ

mf p p sempre

p esitando riten un poco p a tempo pp lunga ppp

ろ つ ら に く さ ねんころろん ねんころろん

colla voce p riten un poco p a tempo pp pp lunga ppp

ねんねこしりり ま せ きょうは二十 一 五 — に ち

pp delicatissimo mf p p pp

p *pp* *mf* *esitando* *p* *esitando*

さ あすはこ の こ のねんころろ み や

p *pp* *mf* *sf* *colla voce* *p*

riten un poco *pp* *a tempo* *ppp* *lunga*

ま い り ねんころろん ねんころろん みやへまいった

riten un poco *pp* *a tempo* *ppp* *lunga* *pp* *sognando* *un poco*

と き なんとゆて おがむさ 一生この

pp *p* *p*

p *esitando* *riten un poco* *pp* *a tempo* *ppp* *lunga*

こ のねんころろ ま め な よ に ねんころろん ねんころろん

p *pp* *ppp* *lunga*

Lento e largamente

おきのかもめに

しおどき きけば(ノ エ

—) わたし たつとり (ヤッ コラサ ノー サ ート コ

ヤッ ト コ セ) なみ に—きけ (シ ト コ ズィ ズィ)

野 ば ら

Andante cantabile (M.M. ♩ = 100)
sotto voce

三木 露 風 作 詞
山 田 耕 稼 作 曲

20.

pp legato amabile e dolcissimo

一 の ば-ら の ば-ら えぞ ちのの ば- ら - ひと こしら-
二 の ば-ら の ば-ら かし こきの ば- ら - かみ のみむね-

espress sempre pp

ね - あ ふ れ-さく いろ もうる は- し -のうば --
を - あ や ま-たぬ あら ののは な- に -しるおし --

f colla voce

ら - えぞ ちのの ば- ら -
え - かし こきの ば- ら -

p

pp

rit.

ppp

21.

箱根八里は

Lento delicatamente
(M.M. ♩ = 66)

(馬子唄)

山田耕作編作曲

は こ ね

え は ち り は

う ま で も こ す が こ す に こ さ れ ぬ

お い が わ

liberament

colla voce

delicatezza

liberamento

morendo

colla voce

ppp

かやの木山

Allegretto
alla giappone (M.M. ♩ = 84)

北原白秋作詞
山田耕筰作曲

22.

The piano introduction consists of two staves. The right staff begins with a treble clef, a key signature of two sharps (F# and C#), and a 4/4 time signature. It features a series of eighth and sixteenth notes, with a tempo marking of 'Allegretto' and a metronome indication of 'M.M. ♩ = 84'. The left staff begins with a bass clef and the same key signature and time signature, providing a harmonic accompaniment. The introduction concludes with a 'poco riten e dim.' marking and a final cadence.

かや - の - きや - ま - のかや - のみ - は

This system contains the first line of the song. The vocal melody is written on a single staff with a treble clef, starting with a mezzo-forte (mf) dynamic. The piano accompaniment is on a grand staff (treble and bass clefs). The lyrics are written below the vocal staff. The piano part includes various dynamics like mf and p, and is marked with 'Tad.' and asterisks at the end of measures.

いつ - か - こぼ - れ - てひろ - わ - れ - て

This system contains the second line of the song. The vocal melody continues on the single staff, with dynamics ranging from f to p. The piano accompaniment on the grand staff provides a steady accompaniment, marked with 'Tad.' and asterisks.

やまがのおばさは いろりばた そだ たき - しば - た き

This system contains the third line of the song. The vocal melody is marked 'parlando' and 'contando ancora'. The piano accompaniment includes a section marked 'semplice (R.H.)' and 'pp'. The lyrics are written below the vocal staff. The piano part is marked with 'Tad.' and asterisks.

molto riten. quasi lento

p あか-り つ-け *mf* かやのみ かや-のみ *p* それはぜた

p *poco riten.* *mf* *a tempo* *p* *colla Voce*

Red. Red. Red. Red. Red. Red.

(M.M. ♩ = 60) *tranquillamente con soritatio riten.*

pp *sotto voce* *mf* *p* *esitare* *poco a poco rit.*

こん-やも あめだろ-もうね-よ-よ

poco esitare *mf* *p* *esitare* *poco a poco rit.*

Red. Red. Red. Red. Red. Red.

p *meno mosso lentando* *poco esitare* *mf* *poco lento*

おさ-るが なく-だて はよ-おね-

p *meno mosso lentando* *poco esitare* *mf* *poco lento*

Red. Red. Red. Red. Red. Red.

Tempo Imo.

p *poco accel.* *esitando* *(L.H.)* *mf* *lentando e chiaramente* *pp*

Red. Red. Red. Red. Red. Red.

野 薔 薇

三 木 露 風 作 詞

一、野ばら 野ばら

蝦夷地の 野ばら

人こそ知らね あふれ咲く

色もうるわし 野のうばら

二、野ばら 野ばら

かしこき 野ばら

神のみ旨を あやまたぬ

あら野の花に 知る教

箱根八里は

日 本 古 謠

箱根八里は

馬でも越すが

越すに越されぬ

大井川

かやの木山

北 原 白 秋 作 詞

かやの木山の

かやの實は

いつかこぼれて

ひろわれて

山家のお婆さは

いろりばた

粗朶たき柴たき

あかり點け

かやの實かやの實

それはせた

今夜も雨だろ

もう寝ようよ

お猿が鳴くだで

早よお寝よ

土 投 げ 唄

野 口 雨 情 作 詞

一、かッぽれ かッぽれ

この土かッぽれ

池が出来たら 金魚でも生けて

ヨイト ヨイトナ

おしやれ姿が 眺めたや。

二、まだある まだある

この土かッぽれ

山が出来たら 櫻でも植えて

ヨイト ヨイトナ

春の咲く花 眺めたや

三、そうとも そうとも

この土かッぽれ

池にや金魚よ 山には櫻

ヨイト ヨイトナ

わたしやこの頃 土投げた。

土 投 げ 唄

野口雨情作詞
藤井清水作曲

威勢よく (M.M. ♩ = 76)

か っ ぽ れ か っ ぽ れ こ の つ ち か っ ぽ れ

い け — — が — — て き た — — ら — — き ん ぎ ょ て も — い

け — て (ヨ — イ ト ヨ — イ ト ナ) お し ゃ れ す — が た —

が — — な が — め — た — — — — や

24.

六 崎

北原白秋作詞

山田耕作作曲

ma quieto
sempre

Molto lento

languidamente (♩ = 44) quasi recit

mf *p* *8va* ごしょう きめらん かん

pp *quasi eco* *lamento e abbandono un poco* *pp* *mf*

ごしょう きめらん かん や ネ が — — — かん み ゆ っ て ま つ と る ば ん

ppp *pp* *mf*

mf *quieto* *p* *quasi eco* *pp* *p*

8va ごしょう きめらん かん ごしょう きめらん かん て ら の —

p *pp* *mf*

p *quasi recit.* *mf* *p* *8va* に

よ あ け の ほ ー み ち —

tranquillamento espressivo

molto quieto

First system of the musical score. It includes a vocal line with lyrics 'かね かね かね' and 'る かね', and a piano accompaniment. Dynamics include *p*, *f*, *mf*, and *sf*. A *gva* (glissando) marking is present over the piano part.

lamentoso e abbandono un poco

Second system of the musical score. It includes a vocal line with lyrics 'る おうて' and 'な け と の', and a piano accompaniment. Dynamics include *p*, *pp*, and *mf*. A *gva* marking is present over the piano part.

piangeramente un poco e morendo

Third system of the musical score. It includes a vocal line with lyrics 'かね' and 'な', and a piano accompaniment. Dynamics include *p* and *pp*. A *gva* marking is present over the piano part. The system concludes with the instruction *molto riten. e morendo*.

六 騎

北原白秋作詞

御正忌參詣らんかん

やねが髪結うて 待つとるばん

御正忌參詣らんかん

寺の夜あけの 細道に

鐘が鳴る 鐘が鳴る

逢うて泣けとの 鐘が鳴る

母のこえ

大木 惇 夫 作 詞
山田 耕 筈 作 曲

Andante Solitariamente (M.M. ♩ = 63)

25. *p espress.* *sf* *p* *pp*

♩. ♩. ♩. ♩. ♩.

p *mf* *pp*

♩. ♩. ♩. ♩. ♩.

mf *f* *p* *pp* *p con solitario*

♩. ♩. ♩. ♩. ♩.

mf *p* *mf* *p dim.* *pp*

♩. ♩. ♩. ♩. ♩.

よ く に は ー と お い に

pp *p*

pp *p* *pp* *sf* *pp*

espress *esitare in fretta.* *molto riten.* *ten.* *dim.* *pp*

お か ー さ の こ え ー も ー す る よ

mf *p* *mf* *colla voce* *pp*

母のこえ

大木惇夫作詞

夜風に
 華がそよぐよ
 よしきりがなくよ
 故郷は遠いに
 お母さまの
 聲もするよ

26.

鐘が鳴ります

(ゆるき民謡の流れにのりて)

北原白秋作詞

山田耕作作曲

山田耕作作曲

かねが --- なります かやの ---

colla voce

きやまに やまは さむぞら ---

とおあか --- ね ひとつ -ぼし-さ え

62

mf ち-ら-つ く- も の-を pp *delicatissimo* な-ぜ-に p ち-ら-り と mf も
 mf p pp p
 pp pp mf p
 て て - - - み え - ん
 pp pp mf p

鐘が鳴ります

北原白秋作詞

鐘が鳴ります
かやの木山に

山は
寒空
遠茜

一つ星さえ
ちらつくものを

なぜに
ちらりと
出て見えぬ

松 島 音 頭

北原白秋作詞
山田耕筈作曲

あかるく、元気よく M.M. ♩ = 120

27. *f sempre*

sempre stacato

あー

まつはー まつ しまー

そなれのまつのー まつのー ねかーたに ききうが さいた

みたよみまーした ひとーもーとー

f *f* *f*

ききやーう みたよ みまーした ひともーとーき ききやーう

やーほ れいほーい ふなばた たたーい て

やー --- ほれい ほー ーい

poco riten e dim.

松島音頭

北原白秋 作詞

松は松しま 磯馴の松の
 松のねかたに 桔梗が咲いた
 見たよ見ました一もと桔梗
 や ほうれ ほうい
 舟ばたたたいて
 や ほうれ ほうい
 さんささんはありや松かぜよ
 誰をまつやら 桔梗が咲いた
 見たよ……(以下同前)
 ここは松島 雄島が崎よ
 星のちろりに 桔梗が咲いた
 さんささんさで待つ身はさぞや
 露の夜露に 桔梗が咲いた
 うたえはやせや 松島音頭
 松のねかたに 桔梗が咲いた

曼珠沙華

Lento molto affatto semplice
quasi recit ♩ = 48

詞曲 作 作 秋 白 原 北
山 田 耕 穉 山

28.

pp きを つけ な *p* ひとつ つんでも ひは まひ

pp *p* *mf*

Red. *Red.* *Red.* *Red.* *Red.*

p る *mf* ひは まひ る *pp* ひとつ あとから また ひら

p *mf* *pp*

Red. *Red.* *Red.* *Red.* *Red.* *Red.* *Red.* *Red.*

f く - *ff* どん しゃん *mf* どん しゃん なし なく ろ

f *ff* *mf*

Red. *Red.* *Red.* *Red.* *Red.*

p いつ まで *mf* とつ ても ひが ん ば な ひが ん ば

p *mf* *mf*

Red. *Red.* *Red.* *Red.* *Red.* *Red.* *Red.*

*Sentimen talamente
e piangeramente*

な — — こわや あか しや まだ なな つ

こわや あか しや まだ なな つ

espress molto

曼珠沙華

北 原 白 秋 作詞

- 一、ゴンシヤン ゴンシヤン 何處へゆく
赤い御墓の ひがんばな
ひがんばな
今日も手折りに 來たわいな
- 二、ゴンシヤン ゴンシヤン 何本か
地には七本 血のような
血のような
ちようどあの兒の 年の數
- 三、ゴンシヤン ゴンシヤン 氣をつけな
ひとつ摘んでも 日はま晝
日はま晝
ひとつあとから またひらく
- 四、ゴンシヤン ゴンシヤン 何故泣くう
何時まで取つても ひがんばな
ひがんばな
恐や赤しや まだ七つ

● ゴンシヤン 九州柳河地方の言葉で、
家のお嬢さんと言う意味

29.

来るか来るか

Andante

山田耕作編.作曲

non tanto lento (M.M. ♩ = 72)

くる か

くる くる か と

は ま へ て て み れ ば の ほ い

の は ま の ま つ か ぜ

f *p* *dolcissimo* *p*

おとや—ま—さるさ—やつとかけなほいま

か—と—な—

colla voce

a tempo

delicato

mf

p

pp

l.h.

r.h.

來るか來るか

日本古謠

一、來るか來るか

濱へ出て見ればのほいの

濱の松風音やまさる

さあやつとかけな

ほいまかとな

二、咲いた水仙

すかれた葉のほいの

心石竹氣は紅葉

さあやつとかけな

ほいまかとな

祭物日に

北原白秋作詞
藤井清水作曲

♩ = 40

mp

mf

まつりものひに

30.

f

p

mp

mf

で - てくさほせ --- ば

p

pp

おもひださる - る

あ - の - こ -

f

p

--- ろ --- が

ほ - したかれくさ

て — にかきよせ — て — — おもひだすぞ

え — — — あ — の — ひ — — — と — — — を

祭物日に

北原白秋作詞

一、祭物日に

出て草干せば

思い出さるる

あのころが

二、干した枯草

手にかきよせて

思い出すぞえ

あの人を

31.

港の時雨

野口雨情作詞
藤井清水作曲Molto lento
con espressione (M.M. ♩ = 44)

First system of the musical score. It consists of a vocal line and a piano accompaniment. The key signature has three sharps (F#, C#, G#) and the time signature is 3/4. The piano part begins with a forte (f) dynamic, followed by piano (p) and then forte (f) again. The vocal line starts with a piano (pp) dynamic and includes a first ending bracket labeled 'l.h.'.

Second system of the musical score. The vocal line continues with lyrics: じのめからかさにしぐれがふるにつきひ. Dynamics include mezzo-piano (mp), piano (p), mezzo-forte (mf), and piano (pp). The piano accompaniment features a right-hand (r.h.) part with piano (p) and mezzo-forte (mf) dynamics.

Third system of the musical score. The vocal line has lyrics: かぞえて ———— みなとを—み—て. Dynamics include forte (f), piano (pp), molto espress. (much expression), mezzo-forte (mf), and poco esitare. (slightly hesitate). The piano accompaniment includes a mezzo-forte (mf) section and a mezzo-piano (mp) section marked 'colla voce.' (with voice).

Fourth system of the musical score. The vocal line begins with 'a tempo' and the lyrics: る まつは—. Dynamics include piano (p), mezzo-piano (mp), forte (f), mezzo-forte (mf), and piano (pp). The piano accompaniment includes a mezzo-forte (mf) section for the left hand (l.h.) and a piano (pp) section for the right hand (r.h.).

つら か ろ ま た ー る る ー み ー よ

り (サ) ふ し ぎ み な と の

船 頭 さ ん た ち よ

moreudo.

港の時雨

野口雨情作詞

蛇の目傘に
時雨が降るに
月日かぞえて
港を見てる
待つ身はつらから
待たる身より
伏木港の
船頭さん達よ

Molto lento (M.M. ♩ = 44)

お
 しょーろ たかしま ゆき ふ る な か を か
 け た か け ご え ほ づ な の ひ び き
 こ お り な が れ

ff *mp* *sf* *fp*
dolce. *mf* *f*
mp *mf*
mf *rit.*
rit.
appassionato e piangendo
f *f* *mp* *f*
f *furioso*

る あ の エ ト ロ フ ヘ お れ は ひ

と り て ふ ね で ゆ く

p *mf* *rit.* *molto lento* *f* *mf* *p* *pp*

忍路

時雨音羽作詞

忍路高島
雪降るなかを
かけた掛け聲
帆網のひびき
氷ながれる
あのエトロフへ
俺はひとり
舟でゆく

Agitato
mf はなは ちらほ - ら - さ - き ま - し - た
f
mp
rit.
molto p
mf colla voce
f
mp
tr
rit.
molto p
3
5
a tempo
poco a poco calmato
a tempo
string
mf
p
pp
3
5
3
5

河原柳

野口雨情 作詞

一、南風吹け 麥の穂に

河原柳の 影法師

最早今年も 澤瀉（さわ）の

花はちらほら 咲きました

二、待ちも暮しも したけれど

河原柳の 影法師

山に父母 蔓かずら

何故にこの頃 山戀し

三、藪に茱萸（あざみ）の木 野に茨

茱萸（あざみ）も茨も 忘れたが

藪の小蔭の 頬白に

無事でいたかと なきもした

四、山に二人の 父母は

藪の小蔭の 頬白は

河原柳の 花も見ず

南風吹け 麥の穂に

物語る様に、情愛をこめて(♩=69)

おせどーの おせどーの
いはーた しちねーん

あか と ん ほ きつね の おはな し
おり ま し た の だ の きつね は

き か せ ま しゅう き か せ ま しゅう
お や ぎ つ ね お や ぎ つ ね

し の だー の お せ だー の ふ る さ と て

mp *a tempo*

mp *a tempo*

mp *p* *mp* *mf* *p* *mf* *p* *rit.*

mf *agitato* *calmato*

こどもにこがれたおやぎつね

mf *colla. voce*

p *rit.* *mp a tempo*

おやぎつね おせどの おせどの

p *rit.* *mp a tempo*

mf

あかとんぼ あしたもおやぶに

mf

mp *rit.* *legatissimo* *p* *molto*

きてとまれ きてとまれ

mp *rit.* *p* *molto*

35.

お山の娘

藤原鎮夫作詞
藤井清水作曲

朗らかに (M.M. ♩ = 132)

First system of the musical score. The vocal line (treble clef) begins with a rest, followed by the lyrics "むぎはほにてた" (mugi wa hotoi teta) with a *mf* dynamic. The piano accompaniment (grand staff) starts with a *f* dynamic, then *mp*, and *mf* with *l.h.* and *r.h.* markings.

Second system of the musical score. The vocal line continues with lyrics "げんげはさいた (ホッ サ ホッ サ) たすき かけろ よ" (genge wa saita (hoppa hoppa) tasuki kakero yo) with a *f* dynamic. The piano accompaniment features a *mp* section and a *f* section with an *8va* marking.

Third system of the musical score. The vocal line begins with a rest, followed by lyrics "(ナ) おやま のむすめ" (Nanaya no musume) with a *mp* dynamic. The piano accompaniment includes a *molto cantabile* section and a *mp* section with *l.h.* and *r.h.* markings.

Fourth system of the musical score. The vocal line continues with lyrics "ごがつおもえー ば - そら きもおどる" (gotsumo oieba - sora kimo odoru) with a *ff* dynamic. The piano accompaniment features a *f* section and a *ff* section with an *sfz* marking.

ふ る さ と の

三木露風 作詞
齋藤佳三 作曲

36. *p*

一 ふ る ー さ と ー の お
二 お と ー せ め と ー は あ
三 と と ー せ め と ー は ぬ お

pp

の の ち ー に ふ え ー の ね ー
つ き こ ろ ー に そ お ー ば き ー
な じ こ ろ ー に き み ー な く ー

p *mf*

pp *molto rit.*

の き や う な る む つ き よ や
は は み だ な が し て き も

molto rit. *pp*

信田の藪

野口雨情 作詞

一、お背戸のお背戸の 赤こんば
狐のお話 きかせましょう。

二、糸機七年 織りました
信田の狐は 親狐。

三、信田のお背戸の 古里で
子供にこがれた 親狐。

四、お背戸のお背戸の 赤こんば
明日もお藪に 来てこまれ。

お山の娘

藤原鎮夫 作詞

麦は穂に出た げんげは咲いた

ホッサ ホッサ

樺かけろよナ お山の娘
蠶ふとれば 仔牛も肥える

ホッサ ホッサ

草鞋作ろかナ お山の娘
五月思えば そら氣もおどる

ふるさとの

三木露風 作詞

一、ふるさとの

小野の木立に笛の音の
うるむ月夜や

二、少女子は

あつき心にそをば聞き
涙ながしき

三、十年経ぬ

同じ心に 君泣くや
母となりても

濱邊の歌

林古溪 作詞

一、あした濱邊を さまよえば

昔のことぞ 忍ばるる

風よ音よ 雲のさまよ

よする波も 貝の色も

二、ゆうべ濱邊を もとおれば

昔の人ぞ 忍ばるる

寄する波よ 返えす波よ

月の色も 星のかげも

三、はやたちまち 波を吹き

赤裳のすそぞ ぬれもせじ

やみし我は すでにいえて

濱邊の眞砂 まなごいまは

濱 邊 の 歌

林 古 溪 作 詞
成 田 爲 三 作 曲

優美に ♩=108

mp

(V)

一 あ し た は ま べ を さ ま よ え
二 ゆ う べ は ま べ を も と ほ れ

*p**p**mp*

ば ー む か し の こ と ー ぞ し の ー ば る
ば ー む か し の ひ と ー ぞ し の ー ば る

*mf**p**mf**vf**p*

る ー か ぜ の お ー と よ く も の さ ま よ ー よ
る ー よ す る な ー み よ か え す な み よ ー つ

*mf**f**a tempo**rit.*

ナ る な ー み ー も か い の い ろ も 二
カ の い ー ろ ー も ほ し の か げ も

*a tempo**rit.**pp*

望 郷 の 歌

吉丸一昌作
成田爲三作

Allegretto

mf

38.

mp

み よ や

よ --- や

p
ふ る さ と の

p

そ -ら-に し-ぐ れ ふ る な り -

gva

mf
し ぐ れ な ら ず あ め - な ら ず -

mf

しぐれなら——ずあめ——ならず——は

はのた——もと——のなみだ

ふるなり——

poco a poco dim.

望郷の歌

吉丸一昌 作詞

見よや
故郷の空に 時雨降るなり
時雨ならず 雨ならず
母の袂の 涙降るなり
聞けや
かりがねの聲を啼きて行くなり
なくね悲しこえ悲し
わが子戀しと母や泣くらん

早春賦

吉丸一昌作詞
中田章作曲

感情をこめて(♩ = 116)

39.



mf

一	は	る	は	の	み	の	か	ぜ	の	さ	む	さ	や	一	た
二		お	り	け	さ	り	あ	し	は	つ	の	ぐ	む	一	さ
三		る	と	か	ね	ば	し	ら	で	あ	り	し	を	一	き

に	の	う	ぐ	い	す	う	た	は	お	も	え	ど	一	と	き	に	あ	ら
て	は	と	き	ぞ	と	お	も	う	あ	や	に	く	一	き	う	も	の	
け	ば	せ	か	る	る	む	ね	の	お	も	い	を	一	い	か	に	せ	よ

ずーとこえもたーてずーときうにあきらのずーともこ
うーもゆきのそーろかーいかにせのよとものこ
とーのこーのーごーろかーいかにせのよとものこ

rit. 1. 2. 3. えーもたーてずーこ
きーのそーらーは
のーごーろかー

1. 2. 3. *p* *pp*

早春賦

吉丸一昌 作詞

一、春は名のみの 風の寒さや

谷のうぐいす 歌は思えど

ときにあらずと 聲もたてず

ときにあらずと 聲もたてず

二、氷とけさり あしはつのぐむ

さては時ぞと 思うあやにく

きようも きのうも 雪の空

きようも きのうも 雪の空

稍早く、きれいに、

村田米四 作詞
草川 信 作曲

つきのて
つきのな

るーよの う れーし さ にー つ き ま ち ぐーさ は い
いーよの か なーし さ にー つ き ま ち ぐーさ は し

そーい そーとー い ろーも ほ の か に ま ちーわ び
ーつ とー とー い つ ゆーに し お か れ て ま ちーあ か

てーあ おーい は か げ の く らーか りーにーほん
すーま てーど く ら せ ど つ きーは てーずーく

Solo *poco rit.*

ぼりのひのつくこころうつらうつらとさ
らいいこころのよいやみにああれひらひらとち

a tempo *mf*

きかかえる
りかかえる

a tempo

1. 2.

1. 2.

月待草

村田米四 作詞

一、月の出る夜のうれしさに

月待草はいそいそと

色もほのかに待ちわびて

あをい葉蔭のくらがりに

ぼんぼりの灯のつくこころ

うつらうつらと咲き香る

二、月のない夜のかなしさに

月待草はしつとりと

露にしをれて待ち明かす

待てど暮らせど月は出ず

暗いこころのよいやみに

あゝれひらひらと散りかゝる

美しき天然

優美に

田中穂積旋律
志賀静男編曲

41.

mp

mp

そ ら に さ え ず る と り の こ え
き け や ひ と び と お も し ろ き

mp

mp

— み — ね よ り お つ る た — き の お
— こ — の て ん ね ん の お — ん が く

mp

mf

と — お お な み こ な
を — し ら べ じ ざ い

mf

みに とひ うき と うま と う

ひ び き た え せ ね う み の お し
が み の お ン て の と う と し

1. 2. 3. 4. 4 の 最後

と や

rit. p

美しき天然

武島羽衣作詞

空に轉づる 鳥の聲
峰より落つる 瀧の音
大波小波 滔々と
響き絶えせぬ 海の音
聞けや人々 面白き
此の天然の 音楽を
調べ自在に 弾き給う
神の御手の 尊しや

春は 櫻のあや衣
秋は紅葉の 唐錦
夏は涼しき 月の絹
冬は眞白き 雪の布
見よや人々 美しき
この天然の 織物を
手際見事に 織り給う
神のたくみの 尊しや

うす雲ひける 四方の山
くれない匂う 横がすみ
海邊はるかに うちつづく
青松白砂の 美しさ
見よや人々 たぐいなき
この天然の うつしえを
筆も及ばず かきたもう
神の力の 尊しや

城ヶ島の雨

北原白秋作詞
梁田 貞作曲

のんびりと

あ めは - ふるふ - る じょう が し ま の
あ めは - しんじゆ か よ あ け - の

い そ に - り きう ね ず み の あ め が ふ - る
き り か - そ れ と も わ

た し の し の - び な き ふ ね は ゆ く ゆ く と お り や の は - な を

ぬ れ て ほ あ げ た ぬ - し の ふ ね え - - ふ ね は - - ろ で や

る ろはう-たて-や る う たはせんどうさんの こ-ころ-い き

あ めは - ふるふ-る ひ はう-す

ぐもる - ふねは ゆくゆく ほ が-かす-む

Dynamic markings: *mp*, *p*, *mf*, *rit.*

城ヶ島の雨

北原白秋 作詞

雨はふるふる 城ヶ島の磯に
利久鼠の 雨がふる

雨は眞珠か、夜明の霧か
それともわたしの 忍び泣き

舟はゆくゆく 通り矢のはなを
濡れて帆上げた ぬしの舟

ええ 舟は櫓でやる

櫓は唄でやる
唄は船頭さんの 心意氣

雨はふるふる 日はうす曇る
舟はゆくゆく 帆がかすむ

Allegro affetuoso

First system of the musical score. It features a vocal line and a piano accompaniment. The vocal line begins with a melodic phrase marked *pp* and *cresc.*, followed by a series of eighth notes and a final phrase marked *rit.*. The piano accompaniment consists of a steady eighth-note pattern in the right hand and a simpler bass line in the left hand.

Moderato

Second system of the musical score. The tempo changes to *Moderato*. The vocal line has two lines of lyrics: "一 そ う び" and "二 そ う び". The piano accompaniment continues with a similar pattern, marked *p* and *cresc.*, with a *rit.* marking before a *cresc.* section. The system ends with a *mf* dynamic marking.

Third system of the musical score. The vocal line has two lines of lyrics: "は - な - さ - く" and "ほ - ほ - え - む". The piano accompaniment continues with a similar pattern, marked *mf*. The system ends with a *mf* dynamic marking.

Handwritten musical score for "Uta no Tanka" in G major, 4/4 time. The score consists of four staves. The first staff is the vocal line with lyrics "う た を" and "う た を". The second staff is a piano accompaniment with a melodic line. The third staff is a piano accompaniment with a bass line. The fourth staff is a piano accompaniment with a bass line. The score is written in G major (one sharp) and 4/4 time.

まい — く — ら — にて あ — — お — ぎ み れ —
 い — だ — き — ね — — む — り み れ —

The score is written for voice and piano. The voice part is in treble clef with a key signature of one flat (B-flat). The piano accompaniment consists of two staves: the right hand in treble clef and the left hand in bass clef. The music features a mix of eighth and sixteenth notes, often beamed together, and rests. A trill (tr) is marked above the final note of the first vocal phrase. The lyrics are in Japanese, with the title 'くらにて' (Kura ni te) appearing in the first line.

Handwritten musical score for the song "Uta no Kana" (うたのこ). The score is written on five staves. The first staff contains the lyrics "うたのこ" (Uta no ko) and "はなのす" (Hana no su). The second staff contains the lyrics "は" (Ha) and "は" (Ha). The third staff contains the lyrics "うたのこ" (Uta no ko) and "はなのす" (Hana no su). The fourth staff contains the lyrics "は" (Ha) and "は" (Ha). The fifth staff contains the lyrics "うたのこ" (Uta no ko) and "はなのす" (Hana no su). The musical notation includes various notes, rests, and bar lines, with some notes written in a shorthand style.

cresc.

ろ — — は — — はなにい — りて —
 た — — は — — ゆめにい — りて —

tr.

cresc.

cresc.

え — むよはなび ら —
 ま — うよおとめ の —

cresc.

cresc.

え — むよえむ — よ
 ま — うよまう — よ

cresc.

f *cresc.*

え—み — て え みて — うたとなる — よ —
 ま—い — て ま いて — こいとなる — よ —

tr. *tr.*

cresc.

mf

三 お とめ ま — い — ま —

tr.

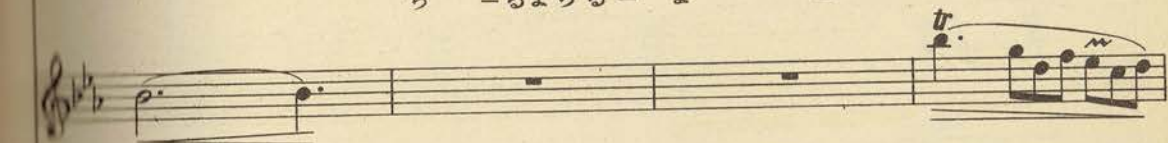
mf

う そ— で — にふ れ て —

こ い を う — た — い — つ わ— れ — も ま

rit.

ば — ゆめ の こ —



ちーりーてちりてーはなとなる

cresc.

cresc.

ト

宵待草

竹久夢二作詞
多忠亮作曲

Allegretto

まーてどくらせど

こーぬひーとを

よいまちぐーさの やるせーなさ

Adagio

こよいはつーきも

てぬそうな

Tempo I.

dim e rit.

晝の夢

高安月郊 作詞

一、薔薇はなさく かげに伏して

詩をまくらに 仰ぎみれば

うたのころは 花に入りて

笑むよ花びら えむよえむよ

えみてえみて うたとなるよ

二、薔薇ほほえむ かげに伏して

詩をいだきて 眠りみれば

はなのすがたは 夢に入りて

舞うよ乙女の まうよまうよ

まいてまいて こいとなるよ

三、乙女まいまう そでに觸れて

戀をうたいつ 我もまえば

ゆめのころは 姿ぬけて

散るよ諸共 ちるよちるよ

ちりてちりて はなとなるよ

宵待草

竹久夢二 作詞

待てど

暮らせど

來ぬ人を

宵待草の

やるせなさ

今宵は

月も

出ぬそなた

小諸なる古城のほとり

島崎藤村 作詞

一、小諸なる古城のほとり

雲白く 遊子悲しむ

緑なす はこべは萌えず

若草も 藉くによしなし

しろがねの 衾の岡邊

日に溶けて 淡雪流る。

二、あたたかき 光はあれど

野に満つる 香も知らず

浅くのみ 春は霞みて

麥の色 わずかに青し

旅人の 群はいくつか

畠中の 道を急ぎぬ。

三、暮行けば 淺間も見えず

歌哀し 佐久の草笛

千曲川 いざよう波の

岸近き 宿にのぼりつ

濁酒 濁れる飲みて

草枕 しばし慰む。

小諸なる古城のほとり

(千曲川旅情のうた)より

島崎藤村作詞
弘田龍太郎作曲

氣概を以て

*legatissimo**mf**mf**mf*

こもろなる 古城のほとり くもし

ろく

遊子

*rit.**a tempo*

かなしむ

*rit.**mp a tempo*



p *mp* *rit.* *a tempo*

に と け て あ わ ゆ き な が る
ぎ の い ろ わ ず か に あ お し

a tempo

sempre p 少し遅く

た び - び と - の む れ は

rit. *p* 少し遅く

い く つ - - - か は た な か - の み ち - を

rit.

い - そ ぎ ぬ

く れ ゆ け

rit.

cresc. e qassionuto

pp

ば あ さ ま も み え ず う た か な

f *p* *pp* *rit.*

し 佐 久 の く さ ぶ え う た か な

Tempo I.

し

dim. *mf*

mf

ち く ま が わ い ざ よ う な み

の き し ち か — — き や ど — に — の ほ り

つ に ご り さ け に ご — れ る の み

て く さ ま く — — ら し ば — し — な ぐ さ

む

地 引 網

加 藤 省 吾 作 詞
弘 田 龍 太 郎 作 曲

元気よく (♩ = 112)

46.



— ださう か ほろ — や い ほろ —

ff

f

合唱
やっ こ ら お せ お せ ふ ね だ し だ そ ら そ ら

sf *mf*

mf
す べ り ぎ そ ら だ し た やっ こ ら お せ お せ

ff 1. 2. 3. 獨唱 4. *mf*
な み に — の — せ — 二 お

f *sf* *mf* *sf* *sf*

か も め

室生犀星作詞
弘田龍太郎作曲

流暢に

47.

dolce

か も め か も め さ り ゆ く か も め

p

*rit. **

p

か く も さ み し く く ち ず さ み

pp *mp* *rit.*

な ぎ さ は て な く つ た い

p *rit.*

ゆ く

dolce a tempo

か も め か も め い

p

り - ひ の か - た に め れ そ ぼ ち -

p

mf

ひ よ ろ と な く は か も め ど

mf

り - あ わ れ み や こ を の が れ - き

pp (柔かく)

pp (柔かく)

て - う み の な ぎ さ を つ - た - い

mp *dim.* *rit.*

rit.

ゆ く う み の な

a tempo *p* *rit.*

dolce a tempo *rit.*

ぎ さ を - つ た い ゆ く -

calando. *pp legatissimo* *calando*

地 引 網

加 藤 省 吾 作詞

一、沖はなぎだぞ ころりこさ

今日も大漁 請合だ

網船出そうか ほうやいほ

やつこら押せ押せ 船出した

そらそらすべり木 そら出した

やつこら押せ押せ 波に乗せ

二、若い衆ア勇みの 揃い肌

みんな赤銅 ころがねだ

向う鉢巻 ほうやいほ

やつこら漕げ漕げ 二挺櫓で

しぶきをあげて 右左

やつこら引網 そうら下ろせ

三、船はもどつたぞ 網綱を

みんな引け引け 掛聲で

そらそら袖網 ほうやいほ

やつこら浮標 はこび出せ

あがるぞあがつた 袋網

やつこら獲物だ 大漁だ

四、力そろえて 地引網

ざるにいつばい 魚山

大漁 大漁だ ほうやいほ

やつこらびちびち 陽に光る

濱は白銀 魚山

やつこら大漁の さんざめき

晝

林 古 溪 作詞

一、歌につかれ 文に倦みて

携え行くや 春の野

小川の根芹 おしわけにぐる

小鮒の腹 白く光る

二、霞む空に 名乗る雲雀

しばしば息へ 提に

つくしは誇り 董うつぶす

小草しきて 汝も臥せや

か も め

室 生 犀 星 作詞

かもめかもめ

さりゆくかもめ

かくもさみしく

くちずさみ

なぎさはてなく

つたひゆく

かもめかもめ

入日のかたに

ぬれそぼち

びようとなくは

かもめどり

あわれみやこを

のがれきて

うみのなぎさを

つたいゆく

うみのなぎさを

つたいゆく。

餘り速くなく

*mp*あよ を り い つ き よ
よ る な く と り

(やはらかく)

*dolce**And.*

※

And.

※

*mf**mp*の は ま べ に は ー お や
の か な し ー ぎ は ー お やを さ が し て な ー く と り が
を た ず ね て う ー み こ え て

な

つ

み

き

の

よ

く

の

に

か

に

ら

へ

mf

うき まえ れて 二 へ る
 ぬぎ れん たの つ
 ば さ の ぎ は ん の い ろ
 8va

mp
poco rit.
mp a tempo
p
rit.
rit.
 8va

濱 千 鳥

鹿 島 鳴 秋 作 詞

青い月夜の 濱邊には
 親をさがして 鳴く鳥が
 波の國から 生れ出る
 ぬれた翼の 銀のいろ
 夜鳴く鳥の かなしさは
 親をたづねて 海こえて
 月夜の國へ 消えてゆく
 銀の翼の 浜千鳥

おそく民謡風に ♩ = 92

清水かつら作
弘田龍太郎作

dolce *poco rit.* *a tempo*

mp *poco rit.* *mf*

一しかられて し かりれ—て
二しかられて し かりれ—て

a tempo *poco rit.*

a tempo *8va*

のこは まだ ちまで おつかい—に ここの
ちには まだ さねど めになみ—だ ふたりの

p (ゆつとりと)

一ぼ—やを ねん—ねし な ゆうべさ びしいむ
—おさ—とは あ—やま を こえてあなたのは

pp (やわらかく)

ら は ず れ こん と き つ ー ね が ー ー な き や ー せ ぬ
 な の む ら ほん に は な ー み は ー ー い つ ー の こ

か と

a tempo dolce

叱られて

清水かつら作詞

一、叱られて

あの子は町まで お使いに
 この子は坊やを ねんねしな
 夕べさみしい 村はづれ
 こんときつねが なきやせぬか

二、叱られて

口には出さねど 眼になみだ
 二人のお里は あの山を
 越えてあなたの 花のむら
 ほんに花見は いつのこと

月のメランコリア

Moderato やわらかに

柳澤 健 作詞
弘田龍太郎 作曲

50.

dolcissimo.

お ほ ぞーを

は る - - はる

と た び ゆ け ど - は て も - な

し さ み し げ に き よ ら か

に わ が つーき は さ

ま よ ひ ゆ - く

pp *rit.* *a tempo* *dim.* *8va* *f* *rit.* *pp*

The musical score consists of three systems. The first system features a vocal line with lyrics 'に わ が つーき は さ' and a piano accompaniment. The second system continues the vocal line with 'ま よ ひ ゆ - く' and includes piano parts with various markings like *rit.*, *a tempo*, *dim.*, and *8va*. The third system shows the piano part with *f*, *rit.*, and *pp* markings.

月のメランコリア

柳澤 健作詞

おおぞらを はるばると
 旅ゆけご 果てもなし
 さみしげに きよらかに
 わが月は さまよいゆく

神 田 祭

小林愛雄 作詞
弘田龍太郎 作曲

Allegretto

51.

mp 軽快に

f

mp

mp

一 ま
二 お
三 く

つ
し
る

り
ろ
い

の
い
ゆ

ひ
に
く

— お
— な
— み
こ

り
だ
し

や
か
に

た
く
そ

い
し
い

に
て
て

ま
か
ま

う
ど
ひ

そ
に
ひ

で
た
と

の
つ
つ

お
べ
く

も
に
る

た
や
ま

き
の
は

一、も の の す ぐ
 二、む う
 三、を め く

f *mp*
dim.
 8va

神 田 祭

小 林 愛 夫 作 詞

一、祭りの日

踊り屋台に

舞う袖の

重たきものを

二、白粉に

涙かくして

門に立つ

紅屋の娘

三、狂い行く

神輿に添いて

舞ひとつ

車は動く

あ さ ね

村山至大 詞
弘田龍太郎 作曲

52. Moderato

p dolce

The piano introduction is in 3/4 time, key of D major. It features a melody in the right hand and a bass line in the left hand. The melody starts with a quarter rest, followed by eighth and sixteenth notes. The bass line consists of quarter notes.

mp

とろろん とろろん とりがな
とろろん とろろん とりがな

The first vocal and piano section. The vocal line starts with a whole rest, followed by a half note and a quarter note. The piano accompaniment continues with the same bass line and adds chords in the right hand.

く ねんねの もりか らめがさめー た
く とーりの なくこ え きくほ どー に

The second vocal and piano section. The vocal line has a half note, a quarter note, and a half note. The piano accompaniment continues with the same bass line and adds chords in the right hand.

p rit. e molto dim.

さめる にゃ さめた が まだね む い
わたしの おめめ が まだね む る

The third vocal and piano section. The vocal line has a half note, a quarter note, and a half note. The piano accompaniment continues with the same bass line and adds chords in the right hand.

1. 2. *mf* *v*
 した を き ら れ た

mp
 す ず め な ら — — ち っ ち ゅ ち ゅ う つ ち ゅ と な く — け

f *rit. e molto dim.* *v*
 れ — ど と ろ ろ ん こ と り は な ん の と り

mp *v*
 ご は ん は た べ た し

まだね むー し が一つこ にゃ ゆきた し まだね むー

し とろろん ことりが ないて いる

p rit. e molto dim.

rit. calando

pp

あ さ ね

松 原 至 大 作 詞

一、とろろん とろろん 鳥がなく

ねんねの森から 眼がさめた
さめるにや さめたが まだねむい

二、とろろん とろろん 鳥がなく

鳥のなく聲 きくほどに
私のお眼が まだねむい

三、舌を切られた 雀なら

ちゅつちゅ ちゅつちゅと
なくけれど

とろろん小鳥は なんの鳥

四、ごはんはたべたし まだねむし

学校にや行きたし まだねむし
とろろん小鳥が ないている

書

林 古 溪 作詞
弘 田 龍 太 郎 作 曲

餘り速くなく

mp

mf

う - た に つ か - れ ふ - み に
か - す む そ ら - に な - の る

やわらかに

mp

う み て た ず さ え ゆ く - や は - る の の -
ひ ば - り し ば し は い こ え つ - つ み に -

mf

f

お が - わ の - ね ぜ - り お し - わ け に ぐ - る
つ く - し は - ほ こ - り す み れ う つ ぶ - す

mp

p

rit.

こ ぶ な の は - - ら し ろ く ひ か る - 8va
お - ぐ さ し き - て な れ も ふ せ や -

rit.

加藤省吾作詞
杉山長谷夫作曲

ゆつたりと *mp*

しらじらと

mf *mp*

左 左

mf

さぎりはふかくぬらしゆーき

mf

ten.

まどべにーあかきはなのかげ

poco a poco rit. *mp* *ten.*

出 船

勝田 香月 作詞
杉山 長谷夫 作曲

55. 淋しく
con sva

mf

一こよいでふねかおなごりおしやくらい
二いまるきてきはでふねのあいずぶじて

mf a tempo

p mf f

なみまにゆきがちるふねはみえねど
ついたらたよりをくりゃれくらいさみしい

p poco rit. a tempo mf f

mp rit.

わかれのこうたにおきじゃちどりもなくぞいな
ほかけのもーとでなみだながらによもうもの

(b) *mp rit.*

金 魚 屋

林 柳 波 作 詞
杉 山 長 谷 夫 作 曲

あかるく

56. *f*

mf かるく

一 あ を ば ー が く ー れ に ー ち ら ー ち ら ー と さん だ が さ ゆ ー く
二 む ら の ー す い ー し も ー お と ー た え ー て な み き の や な ぎ
三 つ る し ー し の ー ぶ に ー あ お ー す だ ー れ ゆ れ て も な ら ぬ

f *mf*

や わ ら か に

か な め が き さ ー と は ー ひ る す ぎ ひ る ー や す ー み き ん
か ぜ も な く ね ー て る ー こ ど も は ゆ め ー に き ー く き ん
ふ う り ん の か す か な ー か ぜ ー に ど こ ー や ら ー で き ん

mp poco *poco*

a poco rit. e dim. *pp*

魚 や 金 魚 ー 金 魚 や 金 魚 め だ か の こ ー
魚 や 金 魚 ー 金 魚 や 金 魚 め だ か の こ ー
魚 や 金 魚 ー 金 魚 や 金 魚 め だ か の こ ー

a poco rit. e dim. *mp* *p* *poco rit.* *pp* (last)

愛のかげ

加藤省吾 作詞

一、しらじらと

狭霧は深く 濡らし行き

窓邊に紅き 花のかげ

二、ひそやかに

狭霧に濡れし ひとのかげ

愉しさよせる 夢のごと

三、しらじらと

狭霧の夜は 深み行く

乙女も胸に 愛のかげ

出船

勝田香月 作詞

一、今宵出船か お名残り惜しや

暗い波間に 雪が散る

船は見えねど 別れの小唄に

沖ちや千鳥も 泣くぞいな

二、今鳴る汽笛は 出船の合圖

無事で着いたら 便りをくりやれ

暗いさみしい 灯影の下で

涙ながらに 讀もうもの

金魚屋

林 柳波 作詞

一、青葉がくれに ちらちらと

三度笠さんとしゆく かなめ垣

里はひるすぎ ひるやすみ

金魚や 金魚

目高の子

二、村の水車も 音たえて

並木の柳 風もなく

寝てる子供は 夢にさく

金魚や 金魚

目高の子

三、釣るししのぶに

あはすだれ青籬

ゆれても鳴らぬ 風鈴の

かすかな風に どこやらで

金魚や 金魚
目高の子

春のあした

尾上 紫舟 作詞

紫におう 山の端の

雲より夜の あけゆけば

柳のつゝみ 星消えて

野寺の鐘の 音すなり。

御あかし残る うぶ砂の

森の櫻の 見えそめて

烏むれ行く 松原の

末より上る うす煙。

水豊かなる 川ぞいの

麥生の霞 やゝはれて

朝だち急ぐ 旅人の

をがさの上に 雲雀なく。

春のあした

尾上柴舟作
松島 舞作

Andante

mf

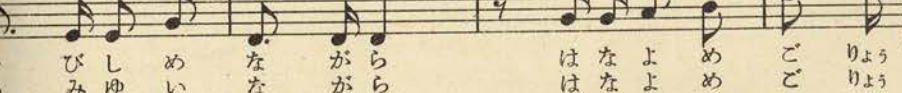
うるるる
におこる
さきた
のかな
さかゆ
みあみ
むらみ

57.

花嫁人形

詞作 虹兒 作曲 谷夫
詞作 谷杉 作曲 山長

$\mathcal{J} = 76$

[illegible]

ははののの
ーここのの
りののの
ごごかかか
めめいてい
よよかだか
なな一み一
ははあなあ

ららはるは
がが形れ形
なな人き人
めいめがめ
ししゆとよ
びみなもな
おかはたは

[illegible]

Violin I

V

Violin II

dim.

rit.

秋の唄

落谷虹兒作
杉山長谷夫作

淋しく

歌

mp

Violin

(Con Sordino)

Piano

mp

一 かれたくさば一のにな
二 かげにさめざめみをふ
三 かげはのにきくわかれ

ふすーよ ひとりーをとめも
わしーて ひともーかれはも
うたーか かぜはーのをふく

mf

rit.

3.

p おそく rit.

のになきふすよ
さめざめなくよ
あきふくなかぜよ

p おそく rit.

mf

p おそく rit.

pp

(註)

ヴァイオリン助奏の
ない時は点線括弧
内をピアノで奏く

片 し ぶ き

西岡水朗 作詞
杉山長谷夫 作曲

勇壯に ♩ = 104

60.

ff *sp* *ff* *sp* *f*

— さらり さらりと
= ドーンと ドーンと

mf

さらり さらりと て ふ ね の み な — と
ドーンと ドーンと と は た う つ な み — に

f *mf*

し ぐ れ ま じ — り の か ぜ も し — — よ — —
ぬ れ り ゃ て ふ — ね の ろ も し — — わ — —

f

い る

f

苗 や 苗

林 柳 波 作詞
杉 山 長 谷 夫 作曲

のんびりと

First system of musical notation, featuring a treble and bass staff with a melody and accompaniment. The tempo is marked 'のんびりと' (slowly). The dynamic is 'mf'.

Second system of musical notation, featuring a treble and bass staff with a melody and accompaniment. The dynamic is 'mf'. The lyrics are written below the treble staff.

一 な え や -- な え な え を -- め せ キュウ リ
二 な え や -- な え な え を -- め せ へ ち ま
三 な え や -- な え な え を -- め せ あ を ば

Third system of musical notation, featuring a treble and bass staff with a melody and accompaniment. The dynamic is 'ff'. The lyrics are written below the treble staff.

一 ト マ ー ト に ほ ナ ス の な え
二 あ さ が ー が ー ま め の な さ
三 が く れ の す げ が に

の び て
う え て
あ め の

Fourth system of musical notation, featuring a treble and bass staff with a melody and accompaniment. The dynamic is 'f'. The lyrics are written below the treble staff.

一 す お し や 一 ゆ う が お の
二 み か わ す 一 か き ね ご し
三 は れ ま の 一 ひ の ひ か り

つ き の
い つ か
ど こ か

勝田香月作詞
杉山長谷夫作曲

感動して遅く

(微風の如く)

かなしきひにーは のにいでーてー
二いためるむねーを いとほしーみー

Moderato

mf

くさの はっばを くちに あて
くさの はっばを くちに あて

mf

くさの はっばを くちに あて
くさの はっばを くちに あて

mf *poco rit.* *p*

く さ の はつ ば を ふ き な ら ー せ
く さ の はつ ば を ふ き な ら ー せ

poco rit. *p* *pp* *a tempo* *f*

f *len.* *mf* *rit.*

に じ む な み だ の せ つ な く ー も
ひ め し お も ひ の せ つ な く ー も

len. *mf* *p*

p

mf *a tempo* *p* *pp*

父と子

濱田 廣介 作詞
船橋 榮吉 作曲

Andante

63.

ほんの お

て ら の は か ま い り

ほんの お て ら の う ら み ち—

は よ も ぎ が — ふ — か い — き が ふ か い い し の

—おはかに —せんこたて て おはかの —ま—えに —はなあげ

て とと—さ お が—め—ば こ も お が む おが

む ととさ と こ が ふ た り

p poco a poco rit e dim

父と子

濱田廣介作詞

ぼんのお寺のはかまいり
 ぼんのお寺の裏路は
 よもぎが深い木が深い
 石のお墓に線香立てて
 お墓の前に花あげて
 ととさおがめば兒もおがむ
 おがむととさと兒がふたり

原作 上田 敏一
 作詞 下田 皖一
 作曲

Andantino

mp
 mf
 f
 mp
 con. ad.

mf
 fp
 mf
 p
 mf

やまのあな-た-の そらーと おく

f
 mp
 f
 mp
 mf
 f rit.

さいはいすむと ひとのいう

mf
 p
 a tempo
 mp
 poco string. poco rit.
 p
 mp a tempo
 poco string. poco rit.

あーあ----- わーれーひとーと とめーゆーきー

p meno mosso

て なみだ - さしぐみ かえりきぬ

p meno mosso cresc. dim.

Tempo I. mf f

やまのあなたに

p rit. mp Tempo I. f

Ad. *

riten. sempre pp a tempo mf

な お とお く - さいはいすむと

riten. pp a tempo mf

mp

ひとのいろ

mp mf mp dim. e rit. p

ちんちん千鳥

北原 白秋 作詞
近衛 秀磨 作曲
sotto voce

Sehr leise im Volkston (♩=104)

極めて微に、民謡體にて、

65.

mp ちんちんちどりの なくよさーは *ppp* なくよさーは *p*

dolce *pp* *p* *pp* *cresc.*

dolce *una corda* *ppp* *delicatissimo* II. *simplice*

がらすどしめーても まだーさむーい まだーさむーい ちんちんちどりの

mp *sf* *pp* *ppp* *p*

dolce

なくこえーは *pp* なくこえーは *p* あかりをけしても まだーきえーぬ

pp *mp* *cresc.* *pp*

ppp *delicatissimo* III. *dolce*

まだーきえーぬ *p* ちんちんちどりは おやないか よかぜにふかーれて

ppp *mp* *mp*

かわのうーえ かわのうーえ

ppp

8va

mp Cantabile

pp

senza sordino

Immer u immer leise u langsam.
段々遅く微かに

IV. ちん ちん ちどりよ およらぬか

pp

mf

pp

mp

dolce

espressivo molto *mfp*

p よあけのみようじょうが はやーしらむ

p

mfp

pp

dolce

molto adagio

p

ppp

rit. molt

ちんちん千鳥

北原白秋 作詞

ちんちん千鳥の 啼く夜さは
啼く夜さは
硝子戸しめても まだ寒い
まだ寒い

ちんちん千鳥の 啼く聲は
啼く聲は
燈りを消しても まだ消えぬ
まだ消えぬ

ちんちん千鳥は 親ないか
親ないか
夜風に吹かれて 川の上
川の上

ちんちん千鳥よ およらぬか
およらぬか
夜明けの明星が はや白む
はや白む

花嫁人形

落谷虹 兒作詞

金襴緞子の帶しめながら

花嫁御寮はなせ泣くのだろ。

文金島田の髪結いながら

花嫁御寮はなせ泣くのだろ。

あねさんごつこの花嫁人形は

赤いかのこの振袖着てる。

泣けば鹿の子のたもとがきれる

涙でかの子の赤い紅にじむ。

泣くに泣かれぬ花嫁人形は

赤い鹿の子の千代がみ衣裳。

秋の唄

落谷虹 兒作詞

一、枯れた草葉も

野に泣きふすよ

ひとり乙女も

野になきふすよ。

二、風にさめ／＼

身をふるわして

人も枯葉も

さめざめ泣くよ。

三、風は野に聞く

別れの歌か

風は野を吹く

秋ふく風よ。

片しぶき

西岡水朗 作詞

一、さらり さらりと

さらり さらりと

出船の港

しぐれまじりの

風もよい

二、えっさ えっさと

えっさ えっさと

黒潮越えて

船は自慢の

唄でやろ

三、ばらり ばらりと

ばらり ばらりと

飛沫か雨か

濡れて乗り切る

波がしら

四、ままよ ふれ／＼

ままよ ふれ／＼

港もくもれ

鰯臍泣かせの

片しぶき

お菓子と娘

Andante quasi allegretto. ♩ = 120

西條八十作詞
橋本國彦作曲

明るく軽快に

66.

Piano introduction in 2/4 time. The right hand features a melody of eighth notes, while the left hand plays a bass line of eighth notes. The piece begins with a piano (*pp*) dynamic marking. The introduction concludes with a double bar line and repeat signs.

First vocal and piano section. The vocal line (treble clef) begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic. The piano accompaniment (grand staff) starts with a piano (*p*) dynamic. The lyrics are: お菓子のすきなパリむすめ ふたりそろえば

Second vocal and piano section. The vocal line continues with dynamics of mezzo-piano (*mp*) and piano (*pp*). The piano accompaniment remains at a piano (*p*) dynamic. The lyrics are: いそいそと かどの菓子屋へボンジュール

Third vocal and piano section. The vocal line continues with a piano (*p*) dynamic. The piano accompaniment includes a *sempre p* marking. The lyrics are: よるまもおそしエクレール こしもかけずに

むしゃむしゃと たべて くちふく バリむすめ

pp

 の こ る な か ば は 手 に も つ て

ppp 1 2 1 1 4 3

pp

non pedal

い く は な み 木 か 公 園 ー か

3

mp

 そ ら は 五 が つ の み ず あ さ ぎ

mp

mf

少し急いで
mp *piu animato* *cresc.* *f*

ひとが みようと わらおうと

p *cresc.* *f*

急に弱く
p *subito* *poco...a...poco...a...tempo*

一こうた まじりて かじりゆく

p *subito* *poco...a...poco...a...tempo*

mp

ラ マ ル チーヌの どうぞーの

pp

rit. *mf*

かたて つばめの ちゅうがーり

rit. *mf* *a tempo...rit.*

5/8
2/8

民 謡 調
お 六 娘

林 柳 波 作 詞
橋 本 國 彦 作 曲

Allegro ♩ = 138

67. *ff* *p* *sf* *sf* *poco*

The piano introduction is in 2/4 time. It begins with a forte (ff) dynamic, featuring a melody in the right hand and a supporting bass line in the left hand. The melody consists of eighth and sixteenth notes. The dynamics shift to piano (p) and sforzando (sf) in the final measures, which end with a 'poco' marking.

poco lento *mp* *ad. lib.* *rit.* *sf*

お ろ く - む す - め は - ま る - が お

The first line of the song features a vocal melody and piano accompaniment. The tempo is marked 'poco lento' and the dynamic is 'mp'. The vocal line has a 'rit.' (ritardando) and 'sf' (sforzando) marking. The piano accompaniment is in 2/4 time. The lyrics are 'お ろ く - む す - め は - ま る - が お'.

mf *mf* *a tempo* *p*

ご ざ - る は な の - さ か り の は た ち て

The second line of the song continues the vocal melody and piano accompaniment. The tempo is marked 'a tempo' and the dynamic is 'p'. The vocal line has 'mf' (mezzo-forte) markings. The piano accompaniment is in 2/4 time. The lyrics are 'ご ざ - る は な の - さ か り の は た ち て'.

mp 1 *mf* *a tempo* *p* *sf* *sf* *mf* *sf*

ご ざ - る 九

The third line of the song features a vocal melody and piano accompaniment. The tempo is marked 'a tempo' and the dynamic is 'p'. The vocal line has 'mp' (mezzo-piano) and 'mf' (mezzo-forte) markings. The piano accompaniment is in 2/4 time. The lyrics are 'ご ざ - る 九'.

がつ ここ の か - つ き - の 夜 ご さ - る

mf

つ - き が か く - れ - て - う す や み ご さ - る

mp *pp* *poco rit.* *p*

2 *a tempo*

pp sf sf sf sf sf sf mp

sf sf sf dim.

pp cresc. f cresc. ff sf

3 *mf*

む ら の わ か も の

f *sf* *sf* *sf* *ff* *sf* *mf*

面白く *sf* *p*

あ つ ま り ご ざ る ち ん' じゅ - ま つ - り の

cresc. *f* 4

く ず れ て ご ざ る

pp.

なにか ひそひそ はなして ござる

ff *sf* *pp subito* *p* *sf* *sf*

mp

む し の - な く ね が

sf *sf* *mp*

f *p* *mf* 5

じゃ ま し て ご - - - ん る

f *p* *mf* *mp* *sf* *sf*

sf *sf* *sf* *ff* *Tempo I*

6

p *sf* *sf* *sf* *sf*

poco lento
mp

お ろ く - む す - め は さ し - き て

poco lento colla voce
mp

mf

ご さ - る し ま だ - た か , ま げ か げ

mp

com. 2do.

poco rit. *sf* *7 a tempo*

ほ し ご さ - る

f *accel.*

む ら の - わ か も の よ び だ し ご さ

accel.

る つぶ て くち - ぶ - え - さ ま ざ ま

cresc. *sf*

pp *cresc.*

こ さ - る

f 8

sf *mf* *sf* *sf* *sf* *sf*

sf *molto animato e cresc.* *sf* *mf marcato* *a tempo*

accel.

brillante *a tempo* *tr* *ff*

9

mf

お ろ く むす -

Scherzando

fp

mp

mf p

f sf sf

め - は ひん よ - く - ごさ - る ふえも つぶて

mf p

sf sf

sf sf

p

きかぬて ごさる む ら の わか も の

sf sf pp sf sf p

mp

dim.

10

しお - れ - て - - ごさ - る

a tempo

pp

p cresc. sf sf

つきが でてきて わらっ て ごさる

sf *mf* *p* *cresc.* *f* *ff* *Presto*

お六娘

林 柳波作詞

一、お六娘は 丸顔ござる

花の盛りの 二十でござる

九月九日 月の夜ござる

月がかくれて うす暗ござる

二、村の若者 集りござる

鎮守祭の 崩れでござる

何かひそひそ 話してござる

虫の啼く音が 邪魔してござる

三、お六娘は 座敷でござる

島田高髻 影法師ござる

村の若者 呼出しござる

つぶて口笛 さまざまござる

四、お六娘は 品よくござる

口笛もつぶても 効かぬでござる

村の若者 しおれてござる

月が出て来て 笑つてござる

民 謡 調

田 植 唄

Rustico $\text{♩} = 108-96$

田舎風に陽氣にはすんで

林 柳 波 作 詞
橋 本 國 彦 作 曲

68.

一 そろ たそ——ろ た よ ー た の
二 そろ たそ——ろ た よ ー い な

く ろ—み—ち に あ か い た す き
だ の—な—え が う た に あ わ せ

espress.

む す め が そ——ろ た — タ タ タ タ そ ろ—— た
な の も に そ——ろ た — タ タ タ タ そ ろ—— た

p mp mf
 たんーぼあおたは たうえのさかり そろたむ すめー は はなー
 たんーぼあおたは あさかぜこかぜ そろたむ すめー は みずー

espress.

掛聲のように
 ぎ --- か - り - ホイキタおなげよ たばねておなげよ
 か --- が - み - ホイキタおなげよ たばねておなげよ

田植唄

林 柳波作詞

- 一、

揃た揃たよ 田のくろ道に
 赤いたすきの 娘がそろた
 田甫青田は 田うえのさかり
 揃た娘は 花さかり
 ほいきたおなげよ 束ねておなげよ
- 二、

揃た揃たよ 稲田の苗が
 唄に併せて 田の面に揃た
 田甫青田は 朝風小風
 揃た娘は 水かがみ
 ほいきたおなげよ 束ねておなげよ
- 三、

揃た揃たよ 青田の中に
 苗と娘が すらりと揃た
 田甫黄金の 波うつ頃は
 揃た娘は お嫁入り
 ほいきたおなげよ 束ねておなげよ

民 謡 調
旅 人 の 唄

佐伯孝夫 作詞
橋本國彦 作曲

69. *Lento quasi Recitativo*
緩やかに情緒をこめて

む せ ぶ
な ね ー ー ー
し ま ー ー ー
の ー ー ー

tranquillamente
靜かに

colla voce

し お の ー か ー む す
や ま ち ー も ー お ち
ひ と よ ー は ー な ぜ

leggiero
軽く

め の む ね ー に ー
 ば の ろ ー は ー
 あ け や す ー い ー

お ぼ ろ お ぼ ー ー
 そ ぞ ろ さ び ー ー
 こ こ ろ の こ ー り ー ー

(pp) liberamente

自由に (V)

な ー は る ー の ー つ ー ー ー き
 や ー た び ー が ー ら ー ー ー す
 な ー べ に ー つ ー ば ー ー ー き

少し追つて……落付いて

pp

旅人の唄

佐伯孝夫 作詞

- 一、むせぶ潮の音
娘の胸にや
おぼろおぼろな
春の月
- 二、馴れた山路も
落葉の頃は
そぞろ寂しや
旅がらす
- 三、島のひと夜は
なぜ明けやすい
心のこりな
紅椿
- 四、星をかぞえて
船底まぐら
波に千鳥の
子守唄

民 謡 調
富士山見たら

久保田宵二 作詞
橋本國彦 作曲

70. *Tranquillo* ♩ = 72

espress. *mf* *p* *mp*

No. *

p *pp*

tranquillamente espressivo
もの静かに抒情をこめて

p *mf* *p*

たびのそら--から 富士山-見た-ら と、おい故郷-の あの-こをおもった

1

p *espress*

mp 3
たびのそら—から

espress.
p *pp* *mp* *p* 2

見た富士山—は とおい故郷—の あの—こに似てる

mp *mf* *espress.*
espress. *p*

いなかそだ—ちと

mp *espress.* 3

わらはいてもら—を あのこあけだかい や —さ— —す— —が—

mf *dolce* *rit.*
espress. *p* *rit.* *collo voce* 8

a tempo

た

4

a tempo

poco rit.

molto tranquillamente e legato

a tempo

rall.

富士山見たら

久保田宵二作詞

一、旅の空から

富士山見たら

遠い故郷の

あの娘をおもた

二、旅の空から

見た富士山は

遠い故郷の

あの娘に似てる

三、田舎育ちと

笑わいで貰を

あの娘あ氣高い

優姿

草 笛

勝田香月 作詞

一、悲しき日には 野に出で、

草の葉つばを 唇くちにあて

草の葉つばを 吹き鳴らせ

にじむ涙の せつなくも。

二、痛める胸を いとおしみ

草の葉つばを 唇にあて

草の葉つばを 吹きならせ

秘めしおもいの せつなくも

山のあなた

上田敏 譯詞

山のあなたの

空遠く

「幸」住むと人の言う

あゝ 我ひとり

尋め行きて

涙さしぐみ

かえり來ぬ

山のあなたに

なお遠く

「幸」住むとひとの言う

お菓子と娘

西條八十 作詞

一、お菓子の好きな 巴里娘

ふたり揃えば いそいそと

角の菓子やへ「ボン・ジュール」

二、選る間もおそし エクレール

腰もかけずに むしやむしやと

喰べて口拭く 巴里娘

三、残る半は 手に持つて

行くは並木か 公園か

空は五月の みずあさぎ

四、人が見ようと 笑おうと

小唄まじりで 囁り行く

ラ・マルチエスの 銅像の

肩で燕の 宙がえり

出船の港

詞作 羽音雨時
曲作 平晉山中

濱唄風に、力強く(M.M.♩=44)

71.

一 ドーン と じと じと なみ の り こー しー
二 エーツ サ エツサ エツサ なお しき る ー てー
三 か ぜ に ほ づ な を き り り と しー めー

て は て ー ー ー い つ ち と ち 三 ち 八 ち ろ と と ば
み ご と く ろ が ね ち の く ろ が ね
か ぢ を ま わ せ ば そ の さ き は お ど

しゃ を る サ ツ と あ が つ た く ち ら の し お の
な み は た め そ と じ と じ と づ と づ と づ と
お ど る へ さ き に み を な げ か け り

おのちとらでとあさひはあー
のとはドーンとふねーのあじなひときへ
おのちとらでとあさひはあー
のとはドーンとふねーのあじなひときへ

どたどる
どたどる
どたどる
どたどる

出船の港

時雨音羽 作詞

一、ドンとドンとドンと

波のり越して

一挺二挺三挺

八挺ろで飛ばしや

サツと上つた

鯨の汐の

汐のあちらで

朝日はおどる

二、エツサ エツサ エツサ

押し切る腕は

みごと黒がね

その黒がねを

波は試そと

ドンと突き當る

ドンとドンと

ドンと

ドンと突き當る

三、風に帆綱を きりりとしめて

梶を廻せば

舳はおどる

おどる舳に

身をなげかけりや

夢は出船の

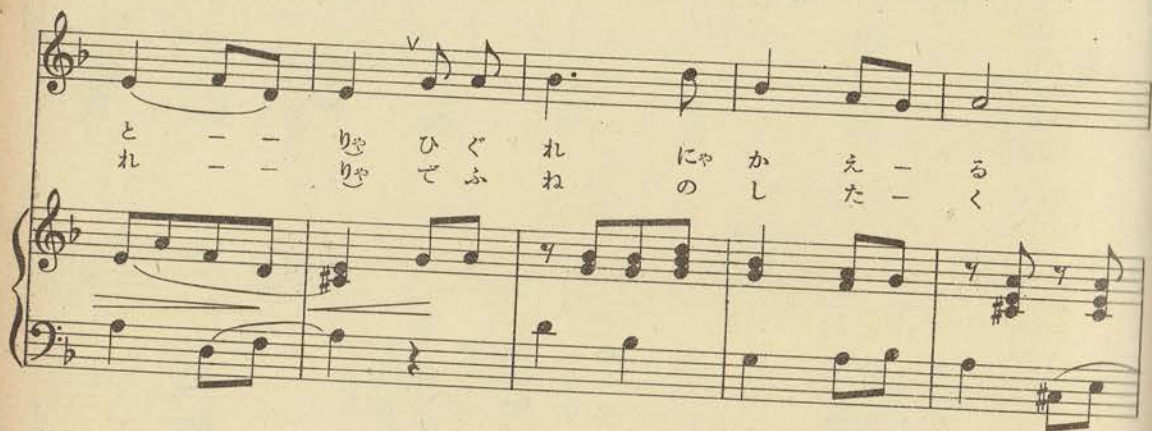
港へ戻る

波 浮 の 港

俚 謠 風 に (M.M. ♩ = 80)

野 口 雨 情 作 詞
中 山 晋 平 作 曲

72.



やん — け こ や — け あすの
 ん — か ぐ ら — し なじな

ひ よ — — り — は (ヤ レ ホ ン ニ サ)
 こ こ — — ろ — て

な ぎ る や ら
 い る の や ら

1. 2. 3. — 4. 5. —
 ニ ふ ね も

鉾をおさめて

時雨 音羽 作詞
中山 晋平 作曲

男らしく、爽かに (M.M. ♩ = 80)

73.



一 ほ こ を お さ め て
二 な だ の き ぎ に
三 き ん の お う き の



ひさ の ま る あ げ て む ね を ド ン と ぶ ち よ あ け の
さ な か な は ー ち ー ら ね を た た す き て こ きょう の
な み な み ー な み ー に は な の た す き て こ きょう の



か ぜ が そ ー ろ そ ー ろ と み に し み わ た る
う た に そ ゆ ー ろ そ ゆ ー ろ と ひ は ま い あ が る
お ど り お ー と お ー と の ち は わ あ あ が る

エ ン ヤ ッ サ ー

エ ン ヤ ッ サ ヤ ン レ ッ サ ヤ ン レ ッ サ お ど り つ か れ て

し ま か と み れ ば は は み な と み や げ の

く ち ら

旅人の唄

野口雨情作詞
中山晋平作曲

しづかに(M.M. ♩ = 80)

74.

一 やまは た か い 一 し の は
二 か わ く ひ ま い 一 く の な み
三 きょう も ゆ う ひ 一 の お ち

ただ だ ひ ろ 一 し ひ と り と ほ 一
ゆ は く さ き は こ い の き も 一
こ ど こ の く に 一

と の 一 ほ た び ち の な が 一 さ 5
や 一 は こ き ち の え そ ら 一 よ ず
1. 2. 3. 4. 5.

波浮の港

野口雨情 作詞

磯の鵜の鳥や 日暮れにやかえる
波浮の港にや 夕やけ小やけ
あすのひよりは

ヤレホンニサ なぎるやら

船もせかれりや 出船のしたく

島の娘たちや 御神火ぐらし

なじよな心で

ヤレホンニサ いるのやら

島で暮すにや とぼしうてならぬ

伊豆の伊東とは 郵便だより

下田港とは

ヤレホンニサ 風だより

風は潮風 御神火嵐

島の娘たちや 出船のときにや

船のともづな

ヤレホンニサ 泣いて解く

鉾をおさめて

時雨音羽 作詞

鉾をおさめて 日の丸上げて
胸をドンと打ちや 夜明けの風が
そよろそよろと 身に泌みわたる

灘の生酒に 肴は鯨

樽を叩いて 故郷の唄に

ゆらりゆらりと 日は舞い上る

金の扇の 波波波に

縄のたすきで 故郷の踊り

男男の 血は湧き上る

エンヤツサ エンヤツサ

ヤンレツサ ヤンレツサ

踊り疲れて 島かと思れば

母へ港へ 土産の鯨

旅人の唄

野口雨情 作詞

一、山は高いし 野はただ廣し

一人とぼとば 旅路の長さ

二、乾く暇なく 涙は落ちて

どこの國やら 果さえ知れず

三、水の流れよ 浮寝の鳥よ

遠い故郷の 戀しき空よ

四、明日も夕日の 落ち行く先は

どこの國かよ 果さえ知れず

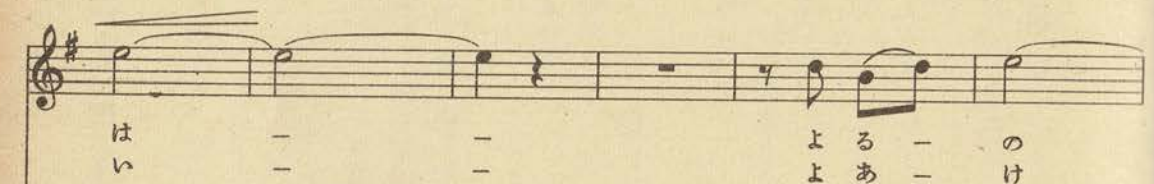
青い芒

野口雨情作詞
中山晋平作曲

俚謡風に (M.M. ♩ = 92)

75.

mp





76.

平 城 山 (ならやま)

古雅にさびしく(♩ = 60-63)

mezza voce

北見志保子作詞

平井保喜作曲

mf *il canto dolente ma espressivo*

The piano introduction consists of two staves. The right hand features a melodic line with eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a harmonic accompaniment with chords and single notes.

mf (感情をこめて)

ひ と こ う は かな し き も の と

The vocal line begins with a half note 'ひ' followed by a quarter note 'と', then a half note 'こ' and a quarter note 'う'. The piano accompaniment continues with a steady eighth-note pattern in the right hand and chords in the left hand.

な ら や ま に も と ほ り き つ つ

(Ho-ri)

The vocal line continues with 'な' (half), 'ら' (quarter), 'や' (half), 'ま' (quarter), and 'に' (half). The piano accompaniment features a more active right hand with sixteenth-note runs. Dynamics include *cresc.* and *f*.

た え が た か り - き

The vocal line continues with 'た' (half), 'え' (quarter), 'が' (half), 'た' (quarter), 'か' (half), 'り' (quarter), and 'き' (half). The piano accompaniment maintains its accompaniment pattern. Dynamics include *espr.*, *poco cresc.*, and *mf*.

mp dolce

いにしえも

dim. *p*

espr.

poco a poco cresc. *ten.* *f*

つまにこい—つつこえしとうならやまの

f

ten. *mp* *rall.* *a tempo*

みちになみだおと—し—ぬ

p *rall.* *a tempo cantando* *mf*

poco a poco dim. e rit. *pp*

77.

荷 足 舟

加藤省吾作詞
平井保喜作曲

ゆるやかに ながれて (♩ = 69)

ヴァイオリン(フルート)太鼓助奏附

Violin

f

太鼓

f

フチ

S.A.

mf

mf

い た こ

CHOR.

T.B.

い た - こ - ナア

ウム ウム

poco rall.

mp

ナアー いーた こ て じーま は よあけのも や い

いた こ て じま は よあけのもーやー い

mp

ウム ウム ウム もーや にー

The first system of the musical score consists of three staves. The top staff is a vocal line with lyrics in Japanese. The middle staff is a piano accompaniment line, and the bottom staff is a grand staff (treble and bass clef). The music is in a key with one sharp (F#) and a 4/4 time signature. The tempo is marked 'mp' (mezzo-piano). The lyrics are: 'ナアー いーた こ て じーま は よあけのも や い' and 'いた こ て じま は よあけのもーやー い'. The piano part features a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes.

mf p poco a poco dim.

も や に ナアー もーや にーぬ れ ぬ れ とりー がーなくよ

ナアー

The second system of the musical score continues the vocal and piano parts. The top staff is a vocal line with lyrics in Japanese. The middle staff is a piano accompaniment line, and the bottom staff is a grand staff. The tempo is marked 'mf' (mezzo-forte), 'p' (piano), 'poco a poco' (gradually), and 'dim.' (diminuendo). The lyrics are: 'も や に ナアー もーや にーぬ れ ぬ れ とりー がーなくよ'. The piano part features a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes.

Musical score for the first system. The vocal part (top staff) includes lyrics:
 とりがなく (tori ga naku)
 なんの (na no)
 なんと (nanto)
 なんと (nanto)
 Musical dynamics: *mf*, *f*, *sf*, *mp*, *f*.
 The piano part (bottom staff) includes lyrics:
 とりがなく (tori ga naku)
 なんと (nanto)
 Musical dynamics: *mf*, *f*.

Musical score for the second system. The vocal part (top staff) includes lyrics:
 ナー (na)
 なんと (nanto)
 とりだろ (tori daro)
 キチキチない (kitchikichi nai)
 Musical dynamics: *f*.
 The piano part (bottom staff) includes lyrics:
 なんと (nanto)
 とりだろ (tori daro)
 キチキチない (kitchikichi nai)
 Musical dynamics: *f*.

mp *8va ad lib.*

ない て よ

て

mf

いそー

は や も ナー はー や も た ん ぼ へ

ピアノ (Piano) accompaniment for the first system.

p *f*

き しーむー

ぐ ひとよ

f

ピアノ (Piano) accompaniment for the second system.

mf *f*
 ナー --- き し む ろ べそは にたりのふーねー か
 き し む ナー きーし む ろ べそは にたりのふ ね

mf *f* *dim.*
 も や に ナー もーや に か く れ て か げー み えぬよ
 か も や に か く れ て

dim. *mp*

poco a poco dim e rit. *p* *rall.* *pp*

mp *p* *pp* *rall.* *ppp* *8va*

だんだんゆつくり

pp *8va*

The musical score is written for voice and piano. It consists of four systems of staves. The first system has a vocal line and a piano accompaniment. The second system continues the vocal line with piano accompaniment. The third system features a piano solo with a vocal line. The fourth system concludes the piece with a piano solo. Dynamics include *poco a poco dim e rit.*, *p*, *rall.*, *pp*, *mp*, *ppp*, and *8va* (octave up). The tempo is marked *rall.* (ritardando). The piece ends with a final chord marked *pp* and *8va*.

荷足船

加藤省吾作詞

一、潮來ナア

潮來出島は 夜明けのもやいよ

もやにナア

もやに濡れぬれ 鳥が啼くよ

二、何のナア

何の鳥だろ きちきち啼いてよ

はやもナア

はやも田甫へ いそぐ人よ

三、きしむナア

きしむ櫓べそは 荷足の舟か

もやにナア

もやにかくれて 影みえぬよ

ゆりかご

Andantino (♩ = 80)

平井保喜 作詞
作曲

78.

mp dolce

espress.

ゆりかごに ゆれて しづかに ねむれ

かぜはそよ そよと しろきいなに ふくよ

mp dolce

espress.

ゆりかごに ゆれて しずかに ねむれ

かぜはゆめをさまし くろきひとみにふくよ

rall. *pp*

ゆりかご

平井保喜作詞

一、ゆりかごに ゆれて

しずかに ねむれ

風は そよそよと

白き腕に 吹くよ

二、ゆりかごに ゆれて

しずかに ねむれ

風は 夢をさまし

黒き瞳に 吹くよ

平城山

北見志保子作詞

一、人戀うは悲しきものと

平城山に

もとほり來つつ

堪え難かりき

二、いにしえも妻に戀いつつ

越えしとう

平城山の路に

涙おとしぬ

九十九里濱

北見志保子作詞
平井保喜作曲

Allegro agitato (♩ = 84)

お

f marcato *cresc.* *sfz allargando sfz* *cresc.* *ff*

(力強く早く)

さ は る か に ー あ れ て な み た

cresc. *dim. rall.* *mp*

ち ー す い へ い せ ん ー ひ の

molto *ff* *p*

poco meno mosso tranquillo なだらかに

で ち かく し て う み ど り と べ り

colla voce *R.H.* *L.H.* *mf* *poca. rit.*

(♩ = 104)

cantabile assai

espress.

poco rall. *a tempo*

poco a poco cresc.

お き つ な

み - ゐ る に は る け し おー

も う こ と い ほ え へ ー だ

て て わ が な り が た し わ

mp *p*

が な り が た し

rall *ent* *ando* **Tempo I**

f *agitato* *p*

(♩ = 132) *f* *sempre marcato*

わ だ つ み の

た い へ い よ う に ま む か ひ

allargando

て す な は ま し ろ
(Ha-ma)

sempre cresc.

allargando

in tempo

し く じゅー う く り な

rit. molto (v)

in tempo

rit. molto

f sempre

り

cresc. molto e accelerando

ff **ff** **ff**

九十九里濱

北見志保子作詞

沖はるかに荒れて
浪たち 水平線
日の出 近くして
海鳥 飛び
沖つ 浪みるに はるけし
思うこと
五百重 いへだてて
わがなりがたし
わだつみの
太平洋に まむかいて
砂濱白し
九十九里なり

追 分 宿

胸ふかくしみ入るように感動を以つて

(♩ = 92 位)

加藤省吾作詞
平井保喜作曲

80.

mf *p*

The piano introduction consists of two staves. The right hand features a series of eighth-note chords and single notes, while the left hand plays a simple bass line. The tempo is marked as 92 beats per minute.

mp dolce *mp*

き きょう は なさ く おいー わ け あー た り
こ や け ゆ う や け あかー ね の くー も に

The first vocal entry is marked *mp dolce*. The melody is simple and lyrical. The piano accompaniment is marked *mp* and features a steady eighth-note pattern in the right hand and a simple bass line in the left hand.

p *rall.*

から ま つー ば や し に あ さ わ たー るー あ
とー お いー む か し を な つ か しー むー な

The second vocal entry is marked *p* and *rall.* The melody continues with a similar lyrical style. The piano accompaniment features a more complex eighth-note pattern in the right hand and a simple bass line in the left hand.

rit. *2.* *1.* *rit.* *dim. a tempo* *mf* *Fine.*

き わ たー る
つ か しー む

The final vocal entry is marked *rit.* and *dim. a tempo*. The melody concludes with a final note. The piano accompaniment features a complex eighth-note pattern in the right hand and a simple bass line in the left hand. The piece ends with a *Fine.* marking.

mp dolce
 ちゃ ら り し ゃ ら り は
 p mp
 に う ま の す ー ず か こ こ は し な の ぢ
 mp
 こ も ろ じ ゅ く こ も ろ じ ゅ く
 p *rit.*
 p *rall.* *rit.* *dim. a tempo*
 D.C.
 D.C. al Fine.

追分宿

加藤省吾作詞

桔梗花咲く
 追分あたり
 唐松林に
 秋渡る 秋渡る

ちゃらり しやらりは
 荷馬の鈴か
 ここは信濃路
 小諸宿 小諸宿

小焼け夕焼け
 茜の雲に
 遠い昔を
 なつかしむ なつかしむ

81.

そばの花

流れるように うるわしく(♩=76)

(二重唱)

加藤省吾 作詞
平井保喜 作曲

Piano introduction in G major, 2/4 time. The right hand features a flowing melody with eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a steady accompaniment with quarter notes. The dynamic is marked *mf*.

First vocal entry (Soprano I) and piano accompaniment. The vocal line begins with the lyrics "つきが て つて る し な の ち の" (Tsuki ga tetsuteru shina no chi no). The piano accompaniment continues with a similar flowing melody. The dynamic is marked *mp*.

Second vocal entry and piano accompaniment. The vocal line begins with the lyrics "は た け つ づ き に そ ば - の は - な" (Hatake tsuzuki ni soba no hana). The piano accompaniment continues with a similar flowing melody. The dynamic is marked *mf*.

Third vocal entry (Soprano II/Alto) and piano accompaniment. The vocal line begins with the lyrics "し - ろ く し ろ - く さ い て い - る" (Shirokushirokusa ite iru). The piano accompaniment continues with a similar flowing melody. The dynamic is marked *mf*.

f し - ろ く し ろ - く さ い て い る

mf み ち は ほ そ ほ そ

mf み ち は ほ そ ほ そ は た - け み ち

は た け み ち そ ば の は - な

ど こ ま で つ づ く そ ば - の は - な

は な の し ろ さ に つ き が て る -

は - な の - し ろ さ に つ ゆ - が ち る

は た け み ち そ ば の は - な

ど こ ま で つ づ く そ ば - の は - な

は な の し ろ さ に つ き が で る -

は - な の - し ろ さ に つ ゆ - が ち る

Poco rall.

Piu mosso agitato

こ こ は さ ら し な し な の ち

f

の は た け に つ ゝ く そ ば - の は

し な の ち の は た け に そ ば - の は

rall. dolciss. pp *Meno mosso* *mf*

な - ろ - く - し - ろ - く - さ い て - い -

な

る し ろ く - し - ろ - く - さ い - て - い

る

Tempo I.

mf rall pp

そばの花

加藤省吾作詞

一、月が照つてゐる 信濃路の

畑つづきに そばの花

白く白く 咲いている

白く白く 咲いている

二、路は細ぼそ 畑路

信濃名物 そばの花

花の白さが ごこまでも

花の白さが つづいてる

三、月が照つてゐる 信濃路の

畑つづきに そばの花

しつとり夜露に めれている

ほろりしづくが ちつている

沼の日暮

北原白秋 作詞

沼の日ぐれは ものういものよ

あおい真菰は 芽に出てもよ

ああ ざんざら

あしの枯葉が なりまする

むぐつちよが啼く 浮いてます

船から棹えこ さしかえても

ああ ざんざら

舟で行くのは 淋しいものよ

春の潮来は まだ寒いよ

りんどうの唄

加藤省吾 作詞

紫にりんどうが ぬれていたよ

ゆらゆらゆらと 風に吹かれて

夕焼雲に そまつていたよ

泣けてくるよな たそがれだつたよ

紫にりんどうが 匂つていたよ

ほろほろほろと 露をちらして

夕焼雲に そまつていたよ

遠いあのころ ひとりでのぶよ

紫にりんどうが 咲いているよ

ゆらゆらゆらと 風に揺れてる

夕焼雲は いつしか消えて

あわい夕月 ほのかにのこるよ

青い芒

野口雨情 作詞

一、青い芒に 螢の虫は

夜の細道 かよってくる

夜の細道 かよってくる

細い芒の 姿が可愛いネ

細い芒に こがれた螢ネ

夏の短い 夜は明け易い

夜明け頃まで

夜明け頃まで かよってくる

二、夜明け星なら チラチラチラと

夜明け星なら

夜明け星なら チラチラと

かよちや來なされ 芒の蔭にヨ

芒や姿は 細くて可愛いヨ

明けりや一夜は 短いとても

寝ずにかよえば

寝ずにかよえば 夜は長い

月見草咲く頃

加藤省吾作詞
足羽 章作曲

♩ = 126

82. *mp*

mf *f*

mp *mf*

一 かのわらにて た一つ きる ゆうづ き は — あ — お い
二 のがもが な い — て る あ の な か — — ち — ら り
三 ほしが — な が — れ る ど の う え — — つ — き の

f *p*

み そ — ら に も え ぎ — い ろ — あ あ そ よ — か ぜ が さ
ち ら — り は み ず の — お と — あ あ に ぶ — ね が — ら
お お — き な ま ろ い — よ は — あ あ ゆ れ — て ー つ

mf

そ—う—か—ら—　　ぼ—っ—か—り—　　ひ—ら—い—た—　　つ—き—み—そ—
 の—お—と—か—　　よ—ぎ—ら—の—　　な—か—か—ら—　　き—こ—え—て—
 き—み—そ—う—　　な—ら—ん—で—　　き—い—て—　　る—に—お—つ—て—

mf *f*

rit. *a tempo*

う—　　つ—き—み—そ—　　う—　　—
 る—　　き—こ—え—　　る—　　—
 る—　　に—お—　　て—　　る—　　—

rit. *a tempo* *rit.* *p* *pp*

3.
1.2.

3.
12.

(註) 13. は最後まで演奏のこと

月見草咲く頃

加藤省吾 作詞

一、河原に出た月　夕月は

青いみ空に　もえぎいろ

あゝそよ風　さそうから

ほつかりひらいた　月見草

月見草

二、のがもがないてる　あしのなか

ちらりちらりは　水のかげ

あゝ荷舟か　ろの音が

よぎりのなから　きこえてる

きこえてる

三、誰かまつよな　土手のうえ

月の大きな　まるとい夜は

あゝゆれてる　月見草

ならんで咲いてる　におつて

におつて

沼の日暮

北原白秋 作詞
足羽 章 作曲

♩ = 69-72

83.

mp mf ff sf mf

mp p mp

ぬま - の

mf cresc. f

日ぐ - れ - - - は - - - もの

cresc. f

う い - も の よ - *p* あ お - い

- ま こ - も は - - - - 芽 に - - - -

- 出 て も よ - *p* あ - -

- - - - - *mf* *f* *p* *pp* ざん ざら

mf あし - の - かけ - 葉 が - なり - ま す - *mp*

る -

mf

mp む ぐ っ ちょ

が ー ー ー 啼く 浮い ー て ー ー

mf *cresc.*

mf *cresc.*

(少し急いで語る様に)

ー ー ー ま す ろから さおへと さしか えても

mp

f *p*

(元の速さで---歌つて)

あ ー ー ー ー ー

mf *f* *ff*

mf a tempo *f* *ff*

8va

ー ー ー ざんざら ふねー て ー いくー の は

p *mf*

p *pp* *mf*

mp *mf*
 さ び し い も の よ は る -
mp *mf*

の い た - と - - は ま - だ - -
f *ff* *sf*

mp *p*
 - さ む い よ -
f *mp* *p* *mf* *f*
8va *8va*

ff *sf* *mf* *sf* *rit.* *p* *pp*
p

Allegretto



The fifth system shows the vocal entry and the beginning of the piano accompaniment. The vocal line is in the treble staff, and the piano accompaniment is in the bass staff. The dynamics are marked 'mp' (mezzo-piano). The lyrics are written below the vocal line.

—し ら か ば の — は だ の し ろ さ に ち ち い ろ
 ら か ば の — し だ ろ い は や し は ほ ほ ぬ ら
 ら か ば の — し ろ い こ ず え に そ よ か ぜ

のーも やーが なし がしく て く れー なーい にて
 すーぎ やんーの がずくれ よ か がりー やーい はな
 がーふ いーて わ た れ ば ゆ

ー そ ま り ゆ くー あ さー あ ああ
 ー き よ ら か ー なー あ さー ああ
 ー ゆ れ て い ー るー あ さー あ

ー あ さー は こ ま ど り がー な いー
 ー あ さー は き ほ お お にー む ねー
 ー あ さー は わ こ お ど のー こ こー

て な いー て よ ぶー んーだ よー 二し
 も む ねー も わ くー んーだ い
 ろ こ こー ろ た のー しーい

1.
 1.

The musical score is written for voice and piano. It consists of three systems of staves. The first system has a vocal line with a '2.' marking and a piano accompaniment. The second system continues the vocal line with lyrics '三 し よ' and the piano accompaniment. The third system features a vocal line with a 'to' marking and a piano accompaniment with dynamics 'mp', 'p', and 'ral - len - to'. The key signature is two flats (B-flat and E-flat), and the time signature is 4/4.

白樺の朝

加藤省吾 作詞
コロムビアレコード 吹込

白樺の 肌の白さに
ちちいろの もやが流れて
紅にそまり 行く朝
あゝ朝は 駒鳥が
啼いて啼いて 呼ぶんだよ

白樺の 白い林は
頬ぬらす 銀のしずくよ
輝いて 清らかな朝
あゝ朝は 希望に
胸も 胸も 湧くんだよ

白樺の 白い梢
そよ風が 吹いて渡れば
百合の花 揺れている朝
あゝ朝は 若人の
心 心 愉しいよ

りんとうの唄

加藤省吾 作詞
鈴木林蔵 作曲

Andantino (野趣と懷しみをこめて)



ら ゆ ら ゆ ら — と かつ ぜ に ふ か — れ
ろ ほ ろ ほ ろ — と っ ゆ を ち か — し

て — ゆ う — や け ぐ も — に そ ま — あ — っ て
て — ゆ う — や け ぐ も — に そ ま — あ — っ て

い た — よ な け て く — る よ — な ら た ひ
た — よ と お い あ — の こ — な ろ

そ が れ だ — っ た よ — む
と り て し の ぶ よ — む

p *pp* *pp* *mf* *cresc.* *f* *mp* *rit.* *pp*

秋がゆくよ

加藤省吾作詞
鈴木林蔵作曲

Allegretto (やゝ迫込んで)

86.

The piano introduction consists of four measures. The right hand plays a melody of eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a harmonic accompaniment with chords. Dynamics are marked as *p* (piano) for the first and fourth measures, and *mp* (mezzo-piano) for the second and third measures.

The first system of the song features a vocal melody and piano accompaniment. The vocal line is written in treble clef with a key signature of one sharp (F#). The piano accompaniment is in bass clef. The lyrics are: 一 あきがゆくよ、二 あきがゆくよ、三 あきがゆくよ. Dynamics include *mp* and *mf* (mezzo-forte).

The second system continues the vocal and piano accompaniment. The lyrics are: あ - おも - い - て - の、あ - はら - はら - と、あ - そら - と お - く. Dynamics include *mp* and *p* (piano).

The third system continues the vocal and piano accompaniment. The lyrics are: を ばしに ゆ ら - れ て、が むねをぬ ら - し て、を かぜが ち ら - し て. Dynamics include *mf* and *mp*.

1. 2. *f rit. a tempo*

ゆ く よ

mf *rit.* *f* *a tempo* *mp* *p*

3. *f rit. a tempo*

ゆ く よ

f *rit.* *ff* *a tempo* *p* *rit.*

秋がゆくよ

加藤省吾作詞

一、秋がゆくよ

秋がゆくよ

想い出の アカシヤ路を
ああ馬車に揺られて
秋がゆくよ

秋がゆくよ

二、秋がゆくよ

秋がゆくよ

はらはらと 落葉の雨が
ああ胸をぬらして
秋がゆくよ

秋がゆくよ

三、秋がゆくよ

秋がゆくよ

空遠く乙女の夢を
ああ風がちらして
秋がゆくよ

秋がゆくよ

ちがやの波

荻田義雄作詞
鈴木林蔵作曲

Andante sostenuto $\text{♩} = 62$ (子守唄風に)

ねんねこねんねこちがーやのー

なみにねんねころりとつーゆーがちーるな

いーてみたとーてかーえーらぬゆめを

はぐれたーこころでよんではみーたーがーそ

ら にゃもえぎ の つきがさーば かーり

mf *p* *rit* *f* *p* *mp* *pp*

ちがやの波

藪田 義雄 作詞

一、ねんねこ ねんねこ ちがやの波に

ねんねころりと 露が散る

泣いてみたとして かえらぬ夢を

はぐれた心で 呼んではみたが

空にやもえぎの 月がさばかり

二、ねんねこ ねんねこ ちがやの波に

ねんねころりと 露が散る

おさな心の 一すちみちを

ひとりでとぼとぼ たづねてみたが

末は墨繪の 山裾ばかり

山茶花

加藤省吾 作詞
海沼 實 作曲

優美に ♩ = 96

mf

The piano introduction consists of two staves. The right hand plays a melody of eighth and sixteenth notes, while the left hand provides a harmonic accompaniment with chords and single notes. The tempo is marked as 96 beats per minute.

mf

The vocal melody for the first line of lyrics is written on a single staff. It begins with a mezzo-forte (*mf*) dynamic. The melody is in a 3/4 time signature and features a mix of eighth and quarter notes.

一 さ ざ ん か の さ い て る み ー ち ー は
二 さ ざ ん か は う す も も い ー ろ ー よ
三 さ ざ ん か は か き ね の み ー ち ー よ

mf

The piano accompaniment for the first line of lyrics is written on two staves. It features a melody in the right hand and a harmonic accompaniment in the left hand, both in a 3/4 time signature.

mp *mf*

The vocal melody for the second line of lyrics is written on a single staff. It begins with a mezzo-piano (*mp*) dynamic and then moves to mezzo-forte (*mf*). The melody is in a 3/4 time signature and features a mix of eighth and quarter notes.

ほ そ い ほ そ い つ ゆ の こ み ち よ
あ ま い あ ま い ち ち の か お り よ
か ぜ に ゆ ら り に お う て ゆ れ る

mp *mf*

The piano accompaniment for the second line of lyrics is written on two staves. It features a melody in the right hand and a harmonic accompaniment in the left hand, both in a 3/4 time signature.

かあさまと いても と う る と き
 ゆめみてる つ き も ほ の か よ
 ざざんかの は な は や さ し い よ

か せ に ゆ ら り ー ゆ れ る よ
 あ き の そ ら は ー あ お い よ
 お か あ さ ま も ー お す き よ

山茶花

加藤省吾作詞

一、山茶花の 咲いてるみちは

ほそいほそい 露の小みちよ

母さまと いつも通るとき

風にゆらり 揺れるよ

二、山茶花は 薄桃色よ

あまいあまい 乳の香りよ

夢見てる 月も灰かに

秋の空は 青いよ

三、山茶花は 垣根のみちよ

風にゆらり 匂うて揺れる

山茶花の 花はやさしいよ

お母さまも お好きよ

みかんの花咲く丘

軽快に [♩ = 76]

加藤省吾 作詞
海沼 實 作曲

一 み かん の は な が さ い て い る ー
 二 く ろ い け む り を は き な が ら ー
 三 い つ か き た お か か あ さ ん と ー

お も い で の み ち ー お か の み ち ー
 お お ふ ね は ど こ へ ー い く の で し ょ う ー
 いっ し ゃ に な が め た ー あ の し ま よ ー

はなきよ るみう かにも にゆひ みらと えれりて あしみ おまて いのい うかる みげと ー ー ー

おきや ふてさ ねきし ー が い と ぼ か うと さん かな お すりも んまわ でしれ るたる ー ー ー

みかんの花咲く丘

加藤省吾 作詞

一、みかんの花が 咲いている

思い出の道 丘の道

はるかに見える 青い海

お船がとく 霞んでる

二、黒い煙を はきながら

お船はどこへ 行くのでしょうか

波に揺られて 島のかげ

汽笛がぼうと 鳴りました

三、何時か来た丘 母さんと

一緒に眺めた あの島よ

今日もひとりで 見ていると

やさしい母さん 思われる

春の唄

喜志邦三作詞
内田元作曲

Allegretto 軽快に

mp *rall.*

a tempo

90.

mp

rall.

a tempo

ー ラ ラ ラ あ か い
あ お い

cresc.

は な た ば く る ま に つ ん で は る が き た き た
は や さ い も い ち ば に つ い て は る が き た き た

cresc.

お か か ら ま ち へ す み れ か い ま し ゃ あ の は な い
む ら か ら ま ち へ あ さ の か い も の あ の に い

mf

f

ff

f

mf

mf

mp

う り の か わ い ひ と み に は る の ゆ め
づ ま の か か ど に あ ふ れ た は る の い ろ



春の唄

喜志邦三作詞

一、
ラララ 紅い花束 車に積んで
春が来た来た 丘から町え
すみれ買いましょ あの花賣りの
可愛い瞳に 春のゆめ

二、
ラララ 青い野菜も 市場に着いて
春が来た来た 村から町え
朝の買物 あの新妻の
かごにあふれた 春の色

三、
ラララ 啼けよ ちろちろ 巢立の鳥よ
春が来た来た 森から町え
姉と妹の あの小鳥屋の
店の頭にも 春の唄

四、
ラララ 空はうららか そよそよ 風に
春が来た来た 町から町え
ビルの窓々みな開かれて
若い心に 春が来た

夜明けの唄

大木惇夫作詞
内田 元作曲

愉快に(行進曲の速さにて)

91.

91. *mf*

8va

mf

mp

一 き り は は れ る よ よ が あ け る
二 ほ し も き え る よ よ が あ け る

かぜは さ さ や く マ ド ロ ス に お き よ
かぜは さ さ や く と り の す に お き よ

mf *f*

ふ な て だ ほ を あ げ よ う み に ま っ か ー な
う た え よ と び た て よ も り に ま っ か ー な

f

ひ が の ほ る
ひ が の ほ る

mf

♩ Coda

鈴蘭に寄せて

加藤省吾 作詞
飯田三郎 作曲

Moderato

mf
一 き う も き
二 す ぎ し ひ

て し ろ く さ い て る す ず ー ら ん を ひ と
に と も と か た り つ こ の ー み ち て す

え だ た お れ ー ば な ー ぜ か し ら は だ に つ め
ら っ み に ー し お ニ も い て よ と も は か え

た り き ひ と ー し づ く
ぬ と お ニ い そ ら

夜明けの唄

大木 惇 夫 作詞

一、露は晴れるよ 夜が明ける

風はささやく マドロスに

起きよ船出だ 帆を上げよ
海にまつかな 日がのぼる

二、星も消えるよ 夜が明ける

風はささやく 鳥の巢に

起きよ歌えよ 飛び立てよ
森にまつかな 日がのぼる

三、稻はそよぐよ 夜が明ける

風はささやく 若者に

起きよ野に出よ 耕せよ
畑にまつかな 日がのぼる

四、草は朝露 夜が明ける

風はささやく 牧場にも

乳をしぼれよ 積出せよ
棚にまつかな 日がのぼる

六、高い煙突 夜が明ける

風はささやく 工場にも

鐘を鳴らせよ 朗らかに
街にまつかな 日がのぼる

五、火の見櫓に 夜が明ける

風はささやく 鍛冶屋にも

打てよ鳴らせよ 金槌を
村にまつかな 日がのぼる

七、うれし樂しや 夜が明ける

鐘はささやく 家々に

みんな目覺めよ いさみ立て
今日の希望の 日がのぼる

鈴蘭に寄せて

加藤 省 吾 作詞

一、今日も来て

白く咲いてる 鈴蘭を

一枝手折れば なぜかしら
肌に冷めたさゝひとしづく

二、過去こせの日に

友と語りつ この路で

鈴蘭摘んだ 思い出よ
今はかえらぬ 遠い空

三、夕月の

淡き夜空は まだ青く

山の静しずかに そよそよと
胸にささやく 風さみし

椰子の實

島崎藤村作詞
大中寅二作曲

思ひ懷しく

93.



一. なもしらぬ とおきしまより ながれよ るやし のみひとつ
二. もとの樹は 生いやし げれる えだはな おか げをやなせる
三. 實をとりて むねにあ つれば あたらな り流 離のうれい



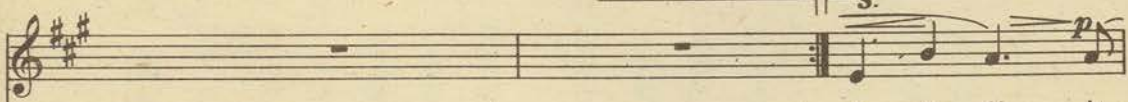
1. 2.



ふるさとのきしを はなれて なれはそなみにい く つ き
われもまたなぎさを まくらひ とりみのうきねの た び ぞ
うみの日のしずむを みれば た ぎりおつきょうの

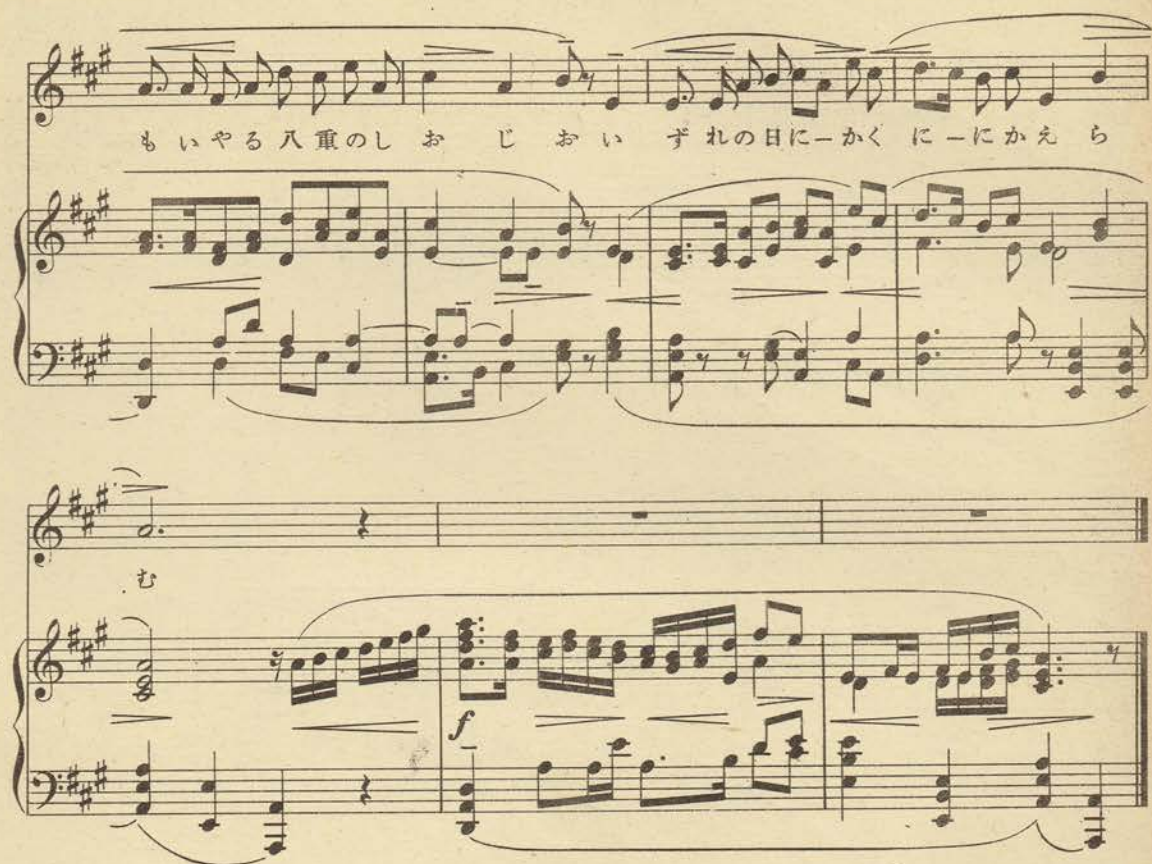


3.



な み だ お





椰子の實

島崎藤村 作詞

名も知らぬ 遠き島より
 流れ寄る 椰子の實ひとつ
 故郷の 岸を離れて
 汝はそも 波に幾月
 舊の樹は 生いや茂れる
 枝はなお 影をやなせる
 われもまた 渚を枕
 ひとり身の 浮寝の旅ぞ
 實をとりて 胸にあつれば
 新なり 流離の憂
 海の日 沈むを見れば
 激り落つ 異郷の涙
 思いやる 八重の汐々
 いずれの日にか 國に歸らむ

加藤省吾作詞
石田一郎作曲

Andante

mf

poco rit.

とおーい

おとーめの あこがれに ゆれて ほのかなゆ

めをよぶ はなよ やさしい しらばらよー

ひかり あかーるい あいーの あーさ ひーとり

mf

mf

mp

mp

たーのしい ゆーめおえー ば かぜもそよー かーに

ながーれくーる よ

mp

白ばらよ

加藤省吾作詞

一、 杳い乙女の あこがれに
揺れてほのかな 夢を呼ぶ
花ややさしい 白ばらよ

ひかり明るい 愛の朝
ひとり楽しい 夢追えば
風もそやかに 流れくる

二、 杳いあこがれ 夢に見る
丘に唄えば はろかなる
青い小路の 白雲よ
ひかり明るい 愛の朝
そつと一ひら 口づけりや
胸に香るは 白ばらよ

朝だ元気で

八十島稔作詞
飯田信夫作曲

愉快に 元氣よく ♩ = 120 126

あさだ

あさだ よーあさ ひが のぼーるーも

ゆるおおぞら ひがのぼる みんなげんきで げん

きでたてよーあさはこころを きり

り と し め て あ な た も わ た し も

さ み ら も ほ く も ひ と り の こ ら ず

そ ら た て あ さ だ 二あさだ だ ー だ ー

朝だ元氣で

八十島 稔 作詞

朝だ朝だよ 朝陽がのぼる
燃ゆる大空 陽がのぼる
皆んな元氣で 元氣で起てよ
朝はこころを きりりとしめて

あなたもわたしも君等も僕も
ひとり残らず そら起て朝だ

朝だ朝だよ 朝陽がのぼる
今日も歡喜の 陽がのぼる
皆んな明るく 明るく起てよ
朝はこころも からりと晴れス

(以下同前)

朝だ朝だよ 朝陽がのぼる
日本國中 陽がのぼる
皆んな揃うて 揃うて起てよ
朝はとどろく 夜明けの鐘に

力強く元氣に

あさはふたたびここにあーりあ

さはわれらとともにあーりうもれよねむ

りゆーけよゆーめかくれよさーらーばーさー

よ あ ら し の に い て よ の に い て

よ い ね の ほ は き に み の り た り

8va

朝

島崎藤村作詞

一、朝はふたたび ここにあり

朝はわれらと ともにあり

埋れよ眠 行けよ夢

隠れよさらば 小夜嵐

二、諸羽うちふる 鶏は

咽喉の笛を 吹き鳴らし

今日の命の たたかいに

よそをいせよと 叫ぶかな

三、野に出でよ 野に出でよ

稲の穂は黄に みのりたり

草鞋とく結え 鎌も執れ

風に嘶く 馬もやれ

落 葉 松

Moderato

北原白秋作詞
長村金二作曲

97.

Piano introduction in 6/8 time, marked *pp* for the right hand and *mp* for the left hand. The music features a rhythmic pattern of eighth and sixteenth notes.

Vocal melody and piano accompaniment. The vocal line is marked *mp*. The lyrics are: 一からまつのはやしをすぎても からまつを / 三からまつのはやしのおくも わがとおる

Piano accompaniment for the first vocal phrase, marked *p*. It features a steady eighth-note accompaniment in the left hand and chords in the right hand.

Vocal melody and piano accompaniment. The vocal line is marked *p* and *mp*. The lyrics are: しみじみとり みけ きり からまつはさびしかりけり / みちはあり け かりさめのか かるみちなり

Piano accompaniment for the second vocal phrase, marked *pp* and *mp cresc.*. It features a steady eighth-note accompaniment in the left hand and chords in the right hand.

Vocal melody and piano accompaniment. The vocal line is marked *p* and *mf*. The lyrics are: たびゆくはさびしかりけり 一 二 からまつの / やまかぜのかよ うみちなり 一 四 からまつの

Piano accompaniment for the third vocal phrase, marked *pp* and *mf*. It features a steady eighth-note accompaniment in the left hand and chords in the right hand.

は や し を い て か ら ま つ の は や し に
は や し の い ち は わ れ の み か ひ と も か

mp い り ぬ か ら ま つ の は や し に い り て
よ い ぬ か そ ぼ そ と か よ う み ち な り

p *poco rit. dim.*

Tempo I *mp* ま た ほ そ く み ち は つ づ け な り
さ び さ び と い そ ぐ み ち な

Φ (四回目からは直ちにCodaへ)

Φ **Coda**

pp *mp* *p* *rit.*

加藤省吾 作詞
山口保治 作曲

♩ = 120



【きれいに】



p cresc. *mf* *dim.*

あ か る い つ き よ の お か に き て
 と ー お く つ づ い た や か な み の
 か ー え る い え の よ は ふ け て

mp

ふ く は か ほ そ い ぎ ー ん の ふ え
 は て に き えー ゆ く なー が れる ほ し
 ひ と り き い て る ほ た る ぐ

p

mp

落葉松

北原白秋 作詞

一、からまつの 林を過ぎて

からまつを しみじみと見き
からまつは さびしかりけり
たびゆくは さびしかりけり。

二、からまつ 林を出でて

からまつ 林に入りぬ
からまつ 林に入りて
また細く 道はつづけり。

三、からまつ 林の奥も

わが通る 道はありけり
霧雨の かかる道なり
山風の かよう道なり。

四、からまつ 林の道は

われのみか ひともかよいぬ
ほそぼそと 通う道なり
さびさびと いそぐ道なり。

五、からまつ 林を過ぎて

ゆえしらす 歩みひそめつ
からまつは さびしかりけり
からまつと ささやきにけり。

六、からまつ 林を出でて

浅間嶺に けぶり立つ見つ
浅間嶺に けぶり立つ見つ
からまつ またそのうえに。

七、からまつ 林の雨は

さびしげど いやよしすけし
かんこ鳥 鳴けるのみなる
からまつ ぬるのみなる。

八、世の中よ あわれなりけり

常なげど うれしかりけり
山かわに 山かわの音
からまつに からまつのかせ。

ほたる草

加藤省吾 作詞

一、露に濡れてる ほそみちに

咲いてほのかな ほたる草
明るい月夜の 丘に來て
吹くはかほそい 銀の笛

二、丘のはるかに 揺れる灯よ

空にまたしく 北斗星
遠くつゞいた 山脈の
果に消えいく 流れ星

三、露をふるわせ 吹き鳴らす

笛はやさしい 銀の笛
かえる家路の 夜は更けて
ひとりきいてる ほたる草

クローバの花

加藤省吾 作詞

一、春の日ざしの 丘の上

友とさがした 幸福の

四つ葉のクローバ いつまでも

さがしていたよ 日ぐれごろ

二、風に揺れてる 白い花

さがしさがせど 幸福の

四つ葉のクローバ 見當らず

夕やけ雲が 流れ行く

三、菜種畑の 菜の花は

仄かな香りを にあわせど

四つ葉のクローバ とこぞやら

かえる小路に 月の出よ

山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

北原白秋 作詞

一、いざや起て 鍛えよ

高なる この腕

おそれじ 寒暑も

行くべし りりしく

山は呼ぶ 野は呼ぶ 海は呼ぶ

二、空に見よ 萌えたつ

梢の かがやき

伸び行く いきおい

我等も 競えり

山は呼ぶ 野は呼ぶ 海は呼ぶ

三、常に持て 光を

張りきれ 我が胸

力よ 湧け湧け

あふれよ よろこび

山は呼ぶ 野は呼ぶ 海は呼ぶ

四、いざや起て 鍛えよ

はがねと 我が身を

強かれ 朝日に

ま向へ 人みな

山は呼ぶ 野は呼ぶ 海は呼ぶ

クローバの花

Moderato ♩ = 108

加藤省吾 作詞
堀江貞一 作曲

mp

一 はるのひざし
二 かぜにゆれて
三 なたねばたけ

mf

mp

の おか の う え と も と さ が し た
る し ろ い は な さ が し さ が せ ど
の な の は な は ほ の か な に お い を

mf

こ う ふ く の よ っ ば の ク ロ ー バ い つ ま て
こ う ふ く の よ っ ば の ク ロ ー バ み あ た ら
に お わ せ ど よ っ ば の ク ロ ー バ ど こ そ や

mp

も ず ら さ が し て い た よ ひ ぐ れ ど ろ
ら ゆ う や け ぐ も が な が れ ゆ く
か え る こ み ち に つ き の て よ

100.

山は呼ぶ野は呼ぶ海は呼ぶ

力強く元氣を以て ♩ = 108

北原白秋作詞

小田進吾作曲

いざやたてきたえ

よ たかなるこのむね おそれ じかんしも ゆく

べし りりしく やまはよーぶ のはよふう みーはよ

1. 2. 3. 4.

